

平塚市役所庁舎に関する市民アンケート調査  
報 告 書

平成 18 年 11 月

平 塚 市

## 目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査表の配布及び回収結果	1
4. 本調査を行うにあたって	2
II. 調査結果	3
1. 回答者属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	4
(4) 居住年数	4
(5) 居住地区	5
2. 現在の市役所庁舎の利用状況	7
(1) 訪問の有無	7
(2) 来訪頻度	8
(3) 交通手段	10
(4) 訪問理由	13
3. 市役所庁舎を建替える場合の考え方	16
4. これからの市役所庁舎のあり方	21
5. 自由回答	29
(1) 市役所庁舎について	29
(2) 市内の公共施設の建替えについて	34
参考資料	37
1. 調査票	37

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

市庁舎の建て替えについて市民の意見を収集し、新庁舎建設に向けての資料として活用することを目的とする。

### 2. 調査方法

- (1) 調査地域・・・平塚市内全域
- (2) 調査対象・・・平塚市内に在住する満18歳以上の男女3,000人
- (3) 抽出方法・・・無作為抽出
- (4) 調査方法・・・郵送配布・郵送回収
- (5) 調査期間・・・平成18年7月31日～8月14日
- (6) 調査票・・・本報告書の巻末を参照

### 3. 調査表の配布及び回収結果

- (1) 標本数・・・発送 3,000人  
・・・戻り分 13人(※)  
・・・実質標本数 2,987人  
    ※ 相手方不明・転居等のため届かず
- (2) 回収数・・・1,187人
- (3) 回収率・・・39.6%
- (4) 有効回収数・・・1,182人
- (5) 有効回収率・・・39.6%

#### 4. 本調査を行うにあたって

- (1) 調査結果の数値は、原則としてパーセンテージ(%)で表記した。%値の母数は、原則としてその質問に対する回答者数(回答すべき人の数)であり、図表では「n=〇〇」と表示している。
- (2) 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも100.0%ではない場合(99.9%または100.1%など)がある。また「0.0」は±0.05未満の数値を示す。
- (3) 図表中の選択肢の内容について、一部省略している場合がある。また、図の一部において、構成比の少ない項目の構成比の値を省略している場合がある。
- (4) 本調査のように全体(母集団)から一部を抽出して行う調査の場合、ここで示された数値(%)をそのまま18歳以上の全市民の回答として単純に置き換えると、多少の誤差を生じる(標本誤差)。そこで、次式により標本誤差を計算して、18歳以上の全市民の回答を数学的に推測する。
- なお、標本誤差(b)は、比率算出の基数(n)及び回答比率(P)によって異なってくる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団数(213,978) n = 比率算出の基数(1,182) P = 回答比率  
 ※母集団とは、18歳以上の市内在住者の総数を表す。(平成17年1月1日現在)

標本誤差の計算結果が下表であり、例えば「ある設問の回答者数が1,182人であり、その設問中の選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率には±2.9%程度の誤差がありうる」ことを示す。つまり、実際の比率は(50.0-2.9)%から(50.0+2.9)%の間にあると考えればほとんど問題ないということである。

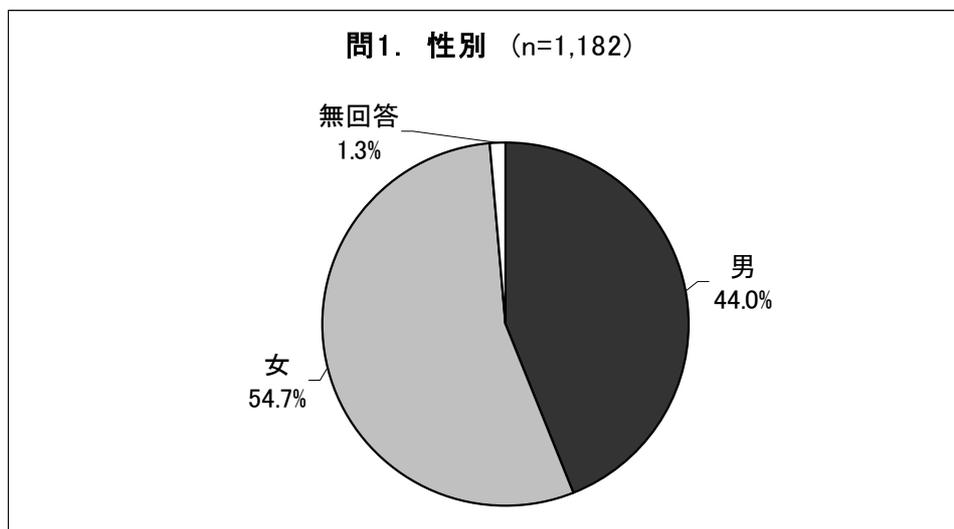
回答比率	誤差
10%または90%	±1.7
20%または80%	±2.3
30%または70%	±2.7
40%または60%	±2.8
50%	±2.9

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 回答者属性

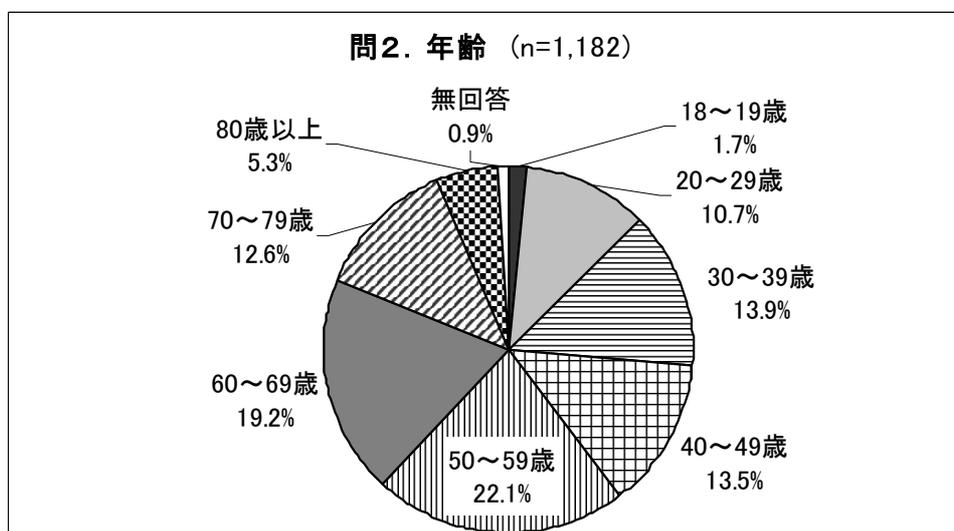
#### (1) 性別

回答者の性別は、「男性」が44.0%、「女性」が54.7%である。



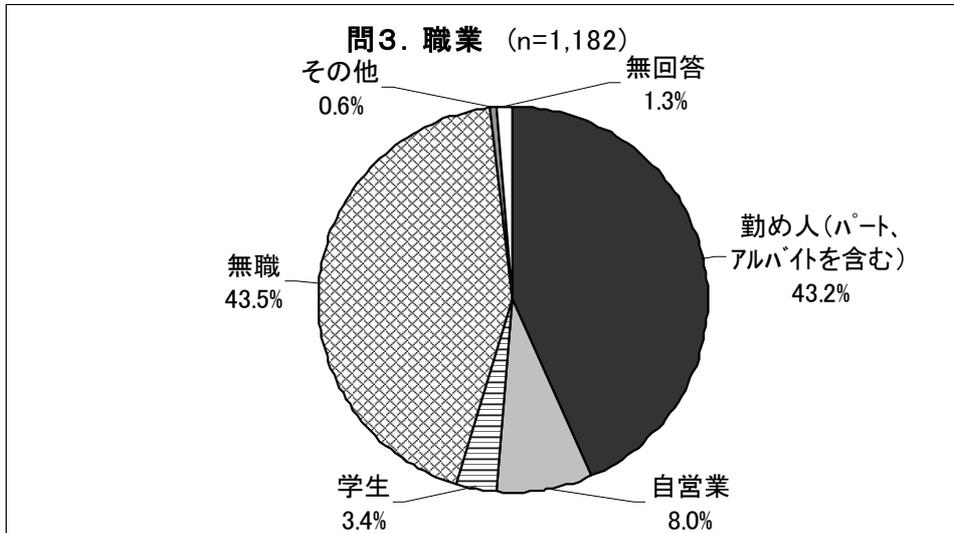
#### (2) 年齢

回答者の年齢層は、「50歳代」が22.1%で最も多く、次いで「60歳代」(19.2%)が多い。



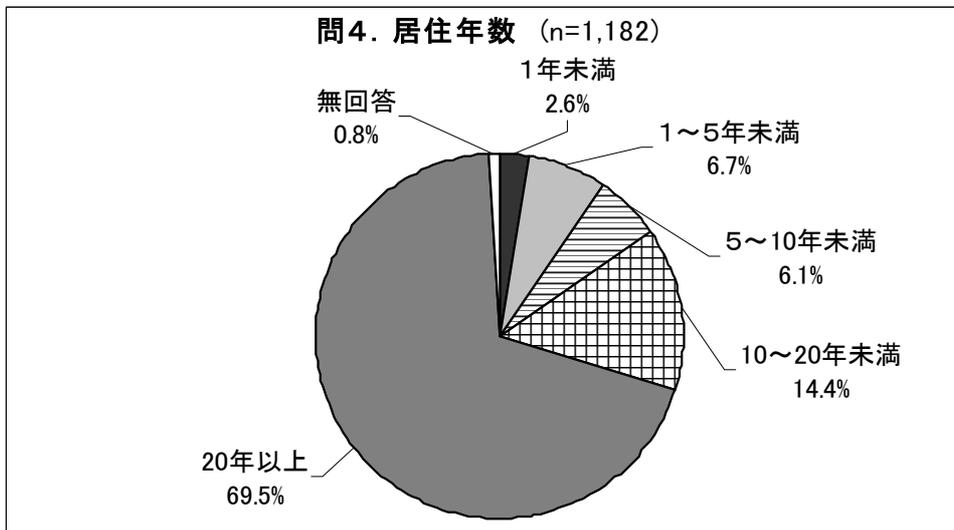
### (3) 職業

回答者の職業は、「無職」(43.5%)と「勤め人」(43.2%)が多く、この2つの職業で全体の8割を占める。



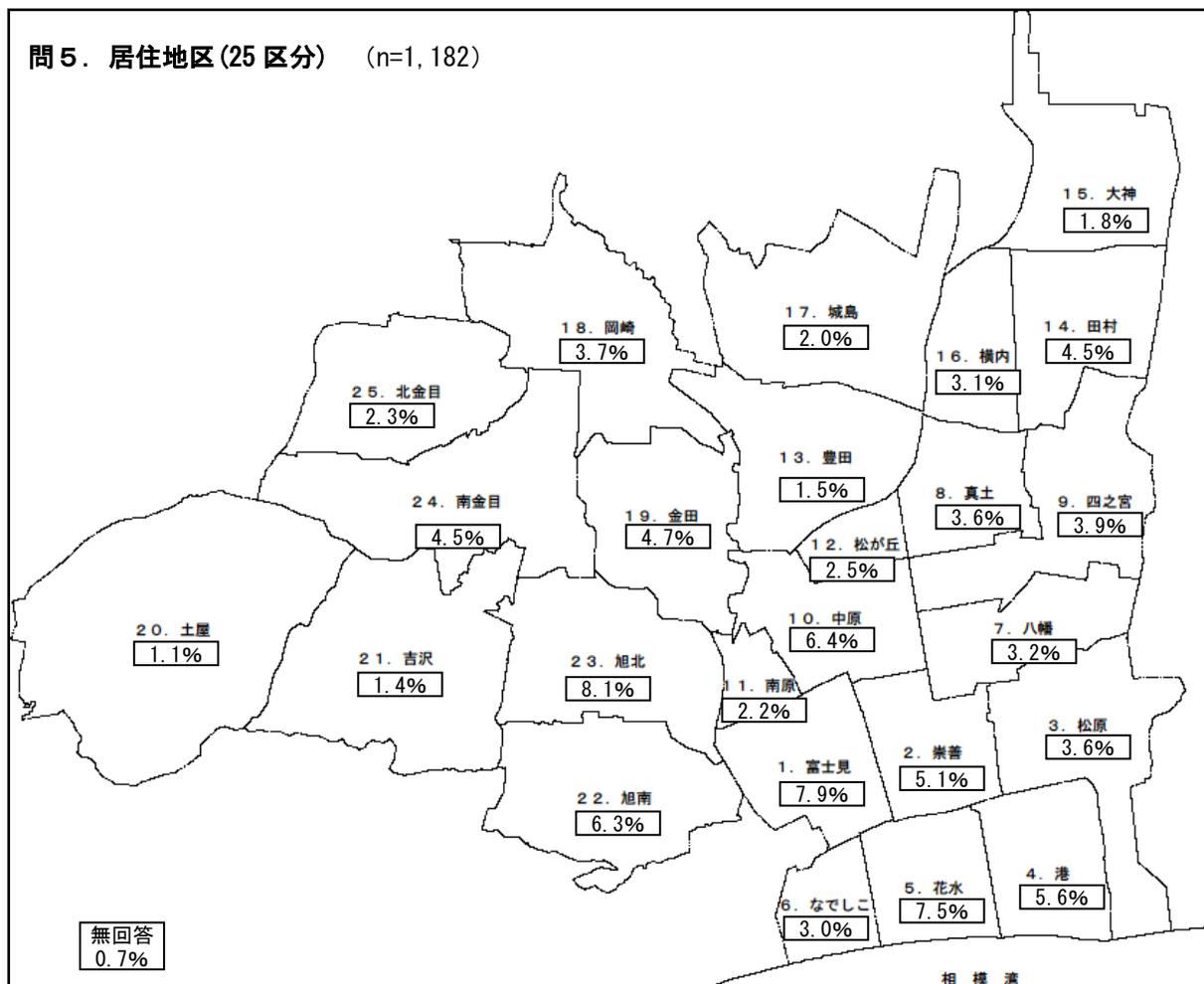
### (4) 居住年数

回答者の平塚市内の居住年数は、「20年以上」(69.5%)が最も多く、全体の2/3以上を占めている。



(5) 居住地区

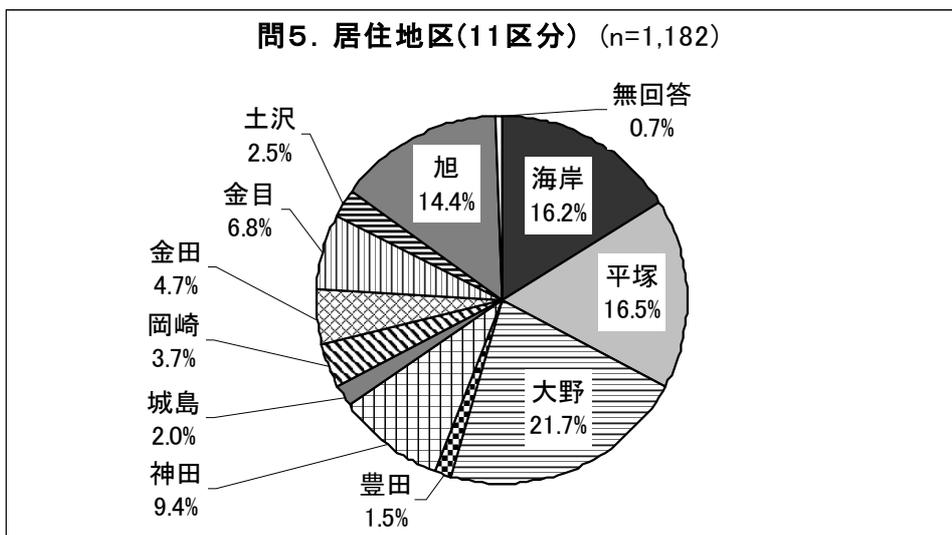
○回答者の居住地区の構成比をみると、「旭北」地区(8.1%)が最も多く、次いで「富士見」地区(7.9%)、「花水」地区(7.5%)といった地区が多い。



地区	該当する住居表示地区または字名
1 富士見	上平塚、桜ヶ丘、諏訪町、達上ヶ丘、豊原町、中里、平塚1丁目～5丁目、富士見町
2 崇善	明石町、追分、浅間町、宝町、立野町、錦町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町
3 松原	天沼、榎木町、老松町、須賀、堤町、中堂、長瀬、馬入、馬入本町、八千代町
4 港	久領堤、幸町、千石河岸、高浜台、代官町、札場町、夕陽ヶ丘
5 花水	黒部丘(1番～9番)、董平、袖ヶ浜、虹ヶ浜(1番～12番)、松風町、桃浜町、八重咲町、龍城ヶ丘
6 なでしこ	黒部丘(10番～30番)、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜(13番～24番)、花水台
7 八幡	西八幡1丁目～4丁目、東八幡1丁目～5丁目、八幡
8 真土	西真土1丁目～4丁目、東真土1丁目～4丁目、真土
9 四之宮	四之宮1丁目～7丁目、四之宮
10 中原	大原、御殿1丁目～4丁目、新町、中原上宿、中原下宿、中原1丁目～3丁目(中原3丁目1番～19番除く)
11 南原	南原1丁目～4丁目、南原
12 松が丘	中原3丁目(1番～19番)、東中原1丁目～2丁目
13 豊田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
14 田村	田村1丁目～9丁目、田村
15 大神	大神、吉際
16 横内	横内
17 城島	大島、城所、小鍋島、下島
18 岡崎	岡崎、ふじみ野1丁目～2丁目
19 金田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
20 土屋	土屋
21 吉沢	上吉沢、下吉沢、めぐみが丘1丁目～2丁目
22 旭南	出縄、高根、高村、万田、山下
23 旭北	公所、河内、徳延、根坂間、日向岡1丁目～2丁目、纏
24 南金目	片岡、千須谷、広川、南金目
25 北金目	北金目、真田

(参考1) 住民実態調査地区区分(11区分)でみた居住地区

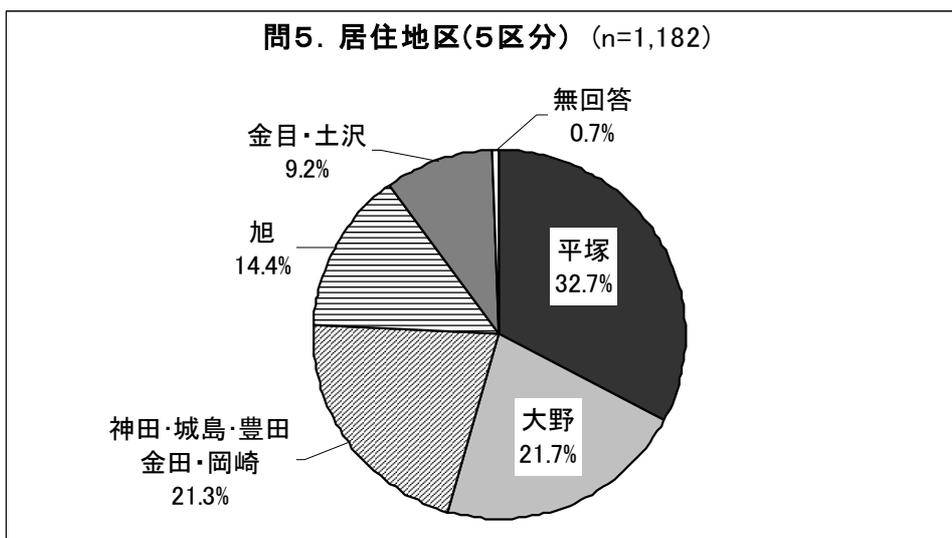
回答者の居住地区を住民実態調査の地区区分で見ると、「大野」地区が21.7%で最も多く、次いで「平塚」地区(16.5%)、「海岸」地区(16.2%)、「旭」地区(14.4%)が多い。



- 海岸(港、花水、なでしこ)
- 平塚(富士見、崇善、松原)
- 大野(八幡、真土、四之宮、中原、南原、松が丘)
- 豊田(豊田)
- 神田(田村、大神、横内)
- 城島(城島)
- 岡崎(岡崎)
- 金田(金田)
- 金目(南金目、北金目)
- 土沢(土屋、吉沢)
- 旭(旭南、旭北)

(参考2) (仮称)次期平塚市総合計画策定に関する市民意識調査の地区区分(5区分)でみた居住地区

回答者の居住地区を総合計画基礎調査の地区区分で見ると、「平塚地区」が32.7%で最も多く、次いで「大野」地区(21.7%)、「神田・城島・豊田・金田・岡崎」地区(21.3%)が多い。



- 平塚(海岸、平塚)
- 大野(大野)
- 神田・城島・豊田・金田・岡崎(神田、城島、豊田、岡崎、金田)
- 旭(旭)
- 金目・土沢(金目・土沢)

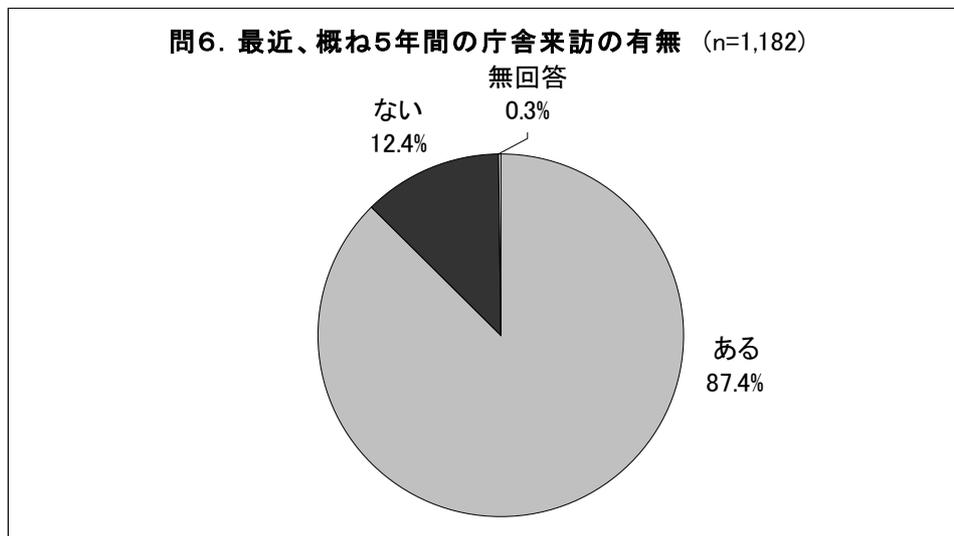
## 2. 現在の市役所庁舎の利用状況

### (1) 訪問の有無

市役所庁舎への訪問の有無をみると、訪れたことが「ある」人が9割弱を占めている。

問6. 最近、概ね5年の間に、庁舎を訪れたことがありますか（1つに○）。

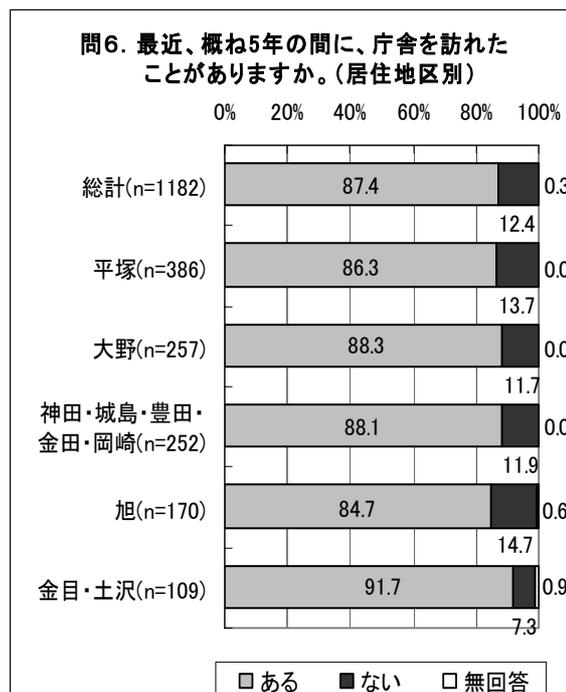
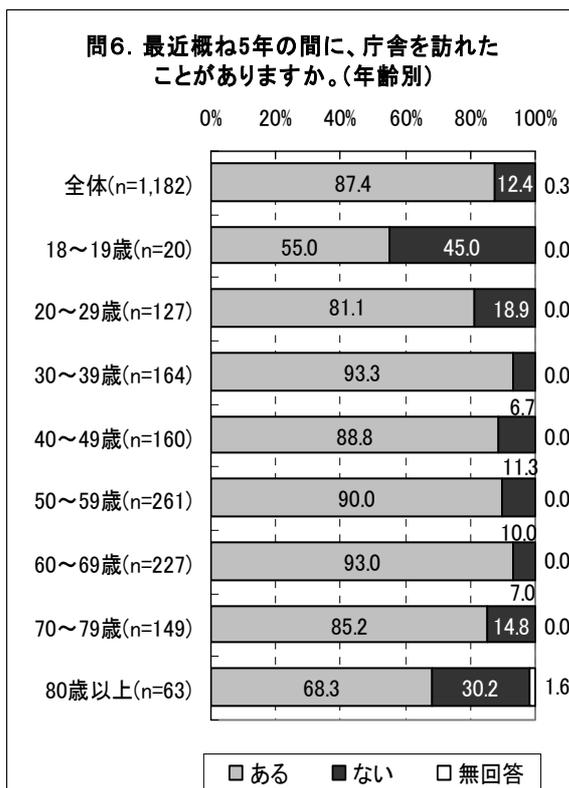
（市役所本庁舎・分庁舎等合わせて教えてください）



#### ■回答者属性別

回答者属性別の市役所庁舎への訪問の有無をみると、年齢別では、10歳代と80歳以上では他の年代に比べて訪問したことがある割合が低いものの、20～70歳代では各年代とも8割以上の人が訪問したことがある。

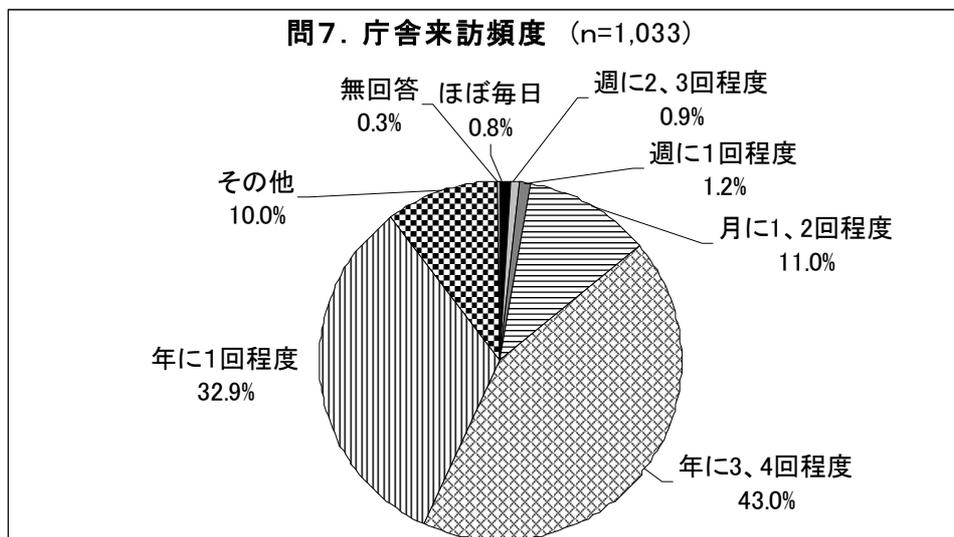
また、居住地区別(5区分)では、いずれの地区も8割以上が訪問したことがあり、訪問の有無について地区間で大きな差はみられない。



(2) 来訪頻度

庁舎を訪れたことのある人について、来訪頻度をみると、「年に3、4回」(43.0%)が最も多く、次いで「年に1回程度」(32.9%)が多く、来訪頻度が年1～数回程度が3/4を占める。

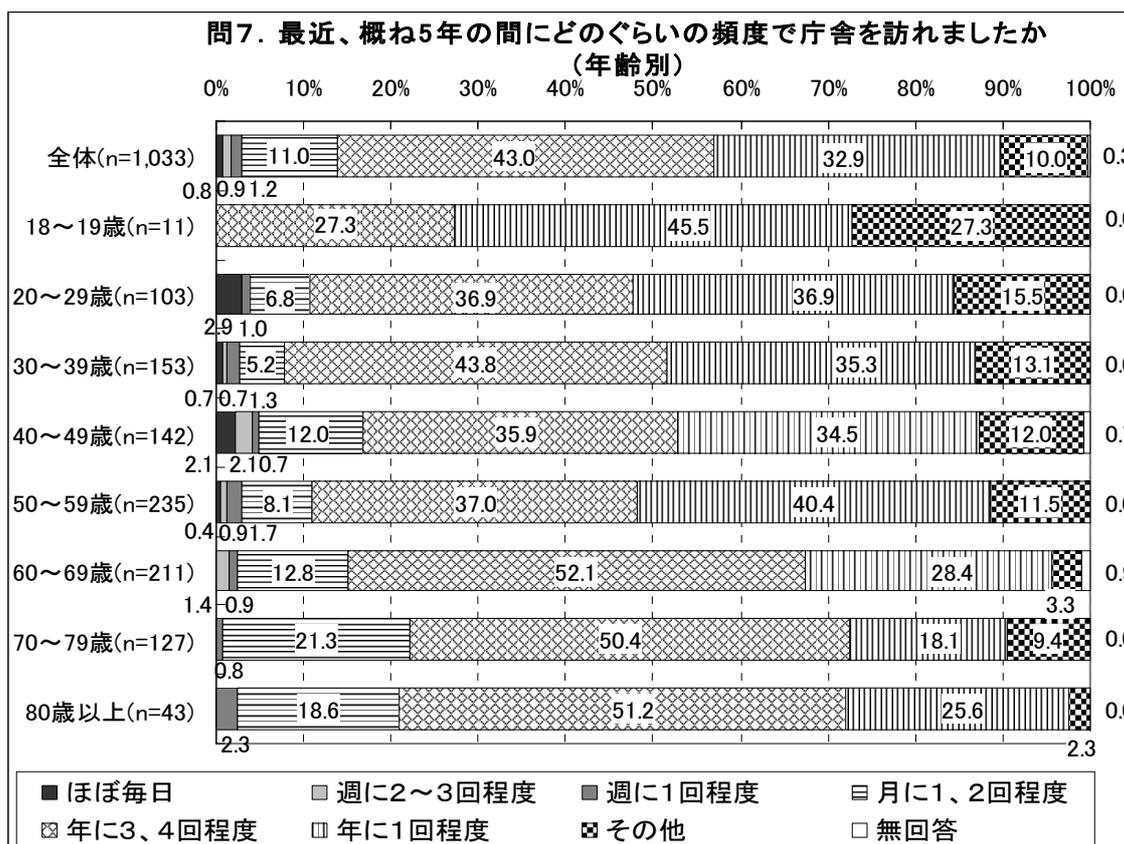
問7. 最近、概ね5年の間に、どのぐらいの頻度で庁舎を訪れましたか(1つに○)。  
 (市役所本庁舎・分庁舎等合わせて数えてください)  
 【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】



■回答者属性別

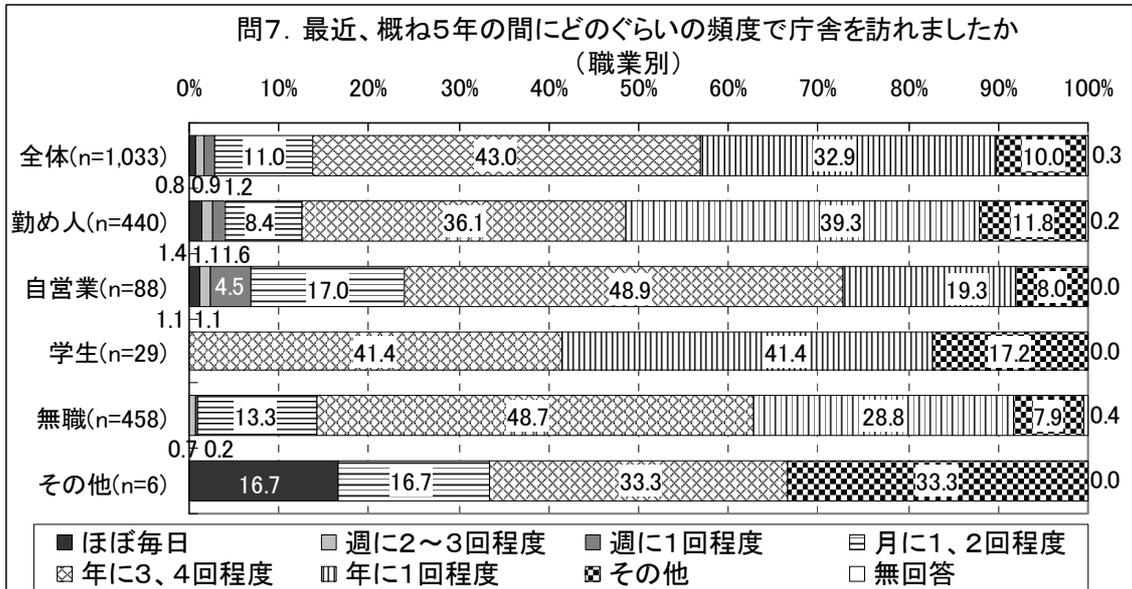
○年齢別

回答者属性別の市役所庁舎への来訪頻度をみると、年齢別では、各年代とも「年3、4回」あるいは「年1回」が最も多く、年1～数回程度の来訪頻度が7～8割を占めている。また、70歳代では「月1、2回程度」が21.3%と他の年代よりも多い。



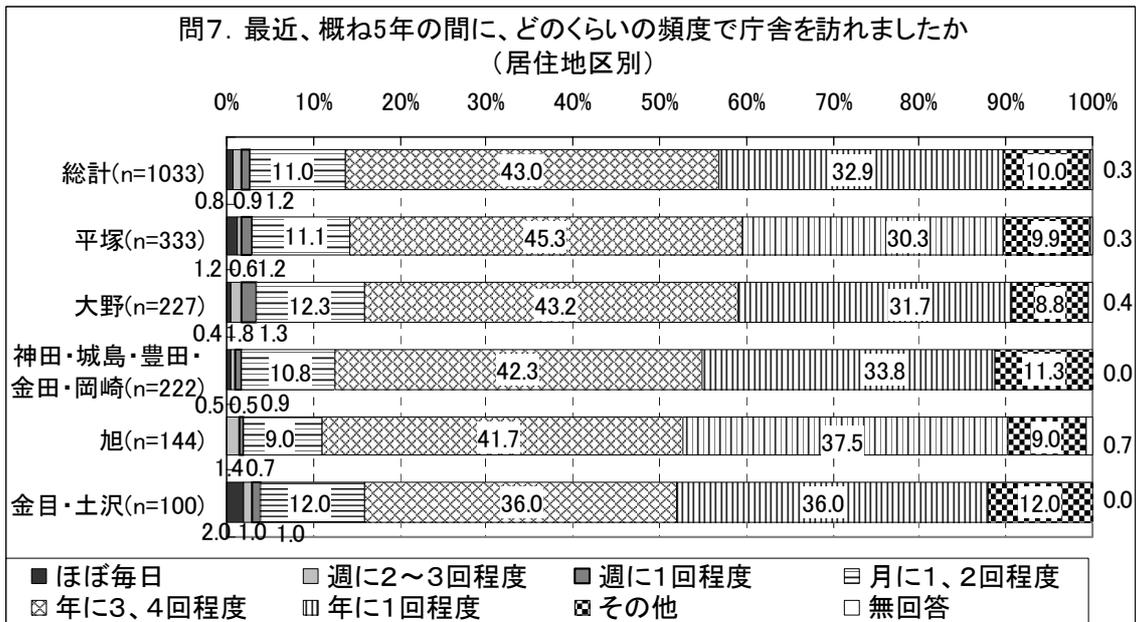
### ○職業別

職業別では、いずれの職業とも「年3、4回」あるいは「年1回」が多くなっているが、自営業では他の職業に比べて「月1、2回程度」(17.0%)の割合が高く、それを含めた「月1回以上」の来庁(「ほぼ毎日」から「月1、2回程度」の合計)が23.7%を占め、他の職業に比べて来訪頻度が多くなっている。



### ○居住地区別

居住地区別(5区分)では、いずれの地区も「年3、4回」あるいは「年1回」が最も多く、年1~数回程度の来訪頻度が7割強から8割弱を占めており、地区間で大きな差はみられない。

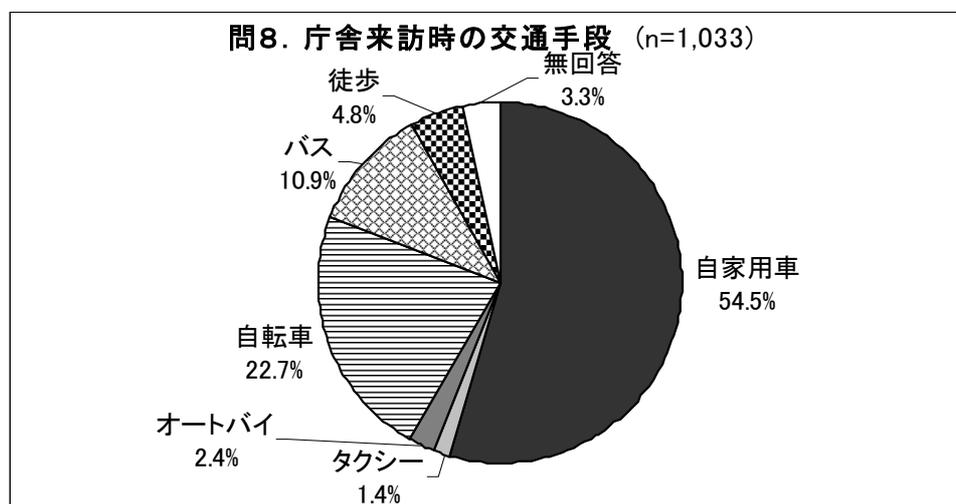


### (3) 交通手段

庁舎を訪れたことのある人について、来訪時の交通手段をみると、「自家用車」(54.5%)が最も多く、過半を占める。次いで「自転車」(22.7%)が多い。

問8. 主にどのような交通手段で庁舎を訪れましたか（1つに○）。

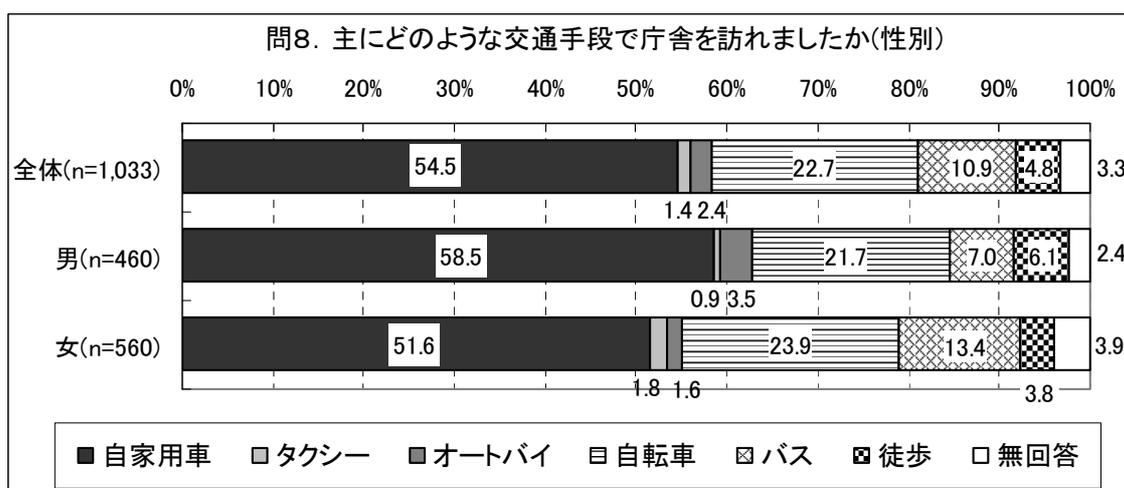
【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】



#### ■回答者属性別

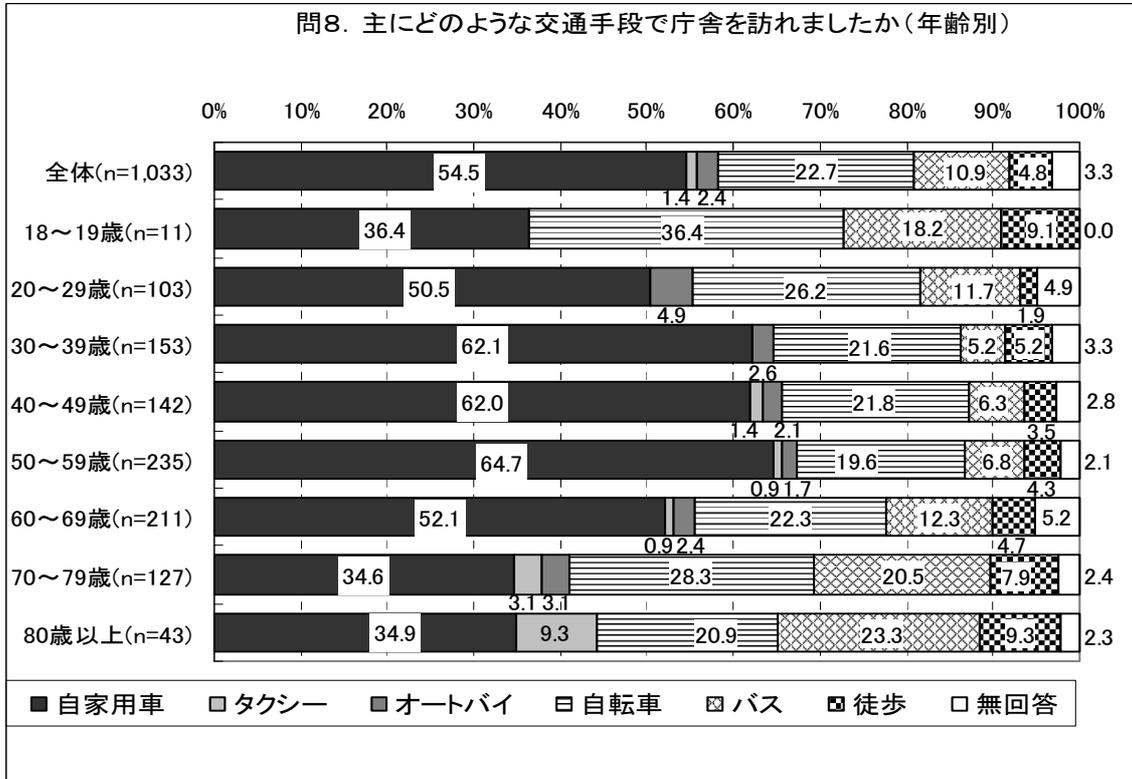
##### ○性別

回答者属性別の市役所庁舎への来訪時の交通手段をみると、性別では、男女とも「自家用車」が最も多く、次いで「自転車」が多い。性別で比較すると、男性は女性に比べて「自家用車」の割合が若干高くなっている(男 58.5%、女 51.6%)。一方、女性は男性に比べて「バス」の割合が高い(男 7.0%、女 13.4%)。



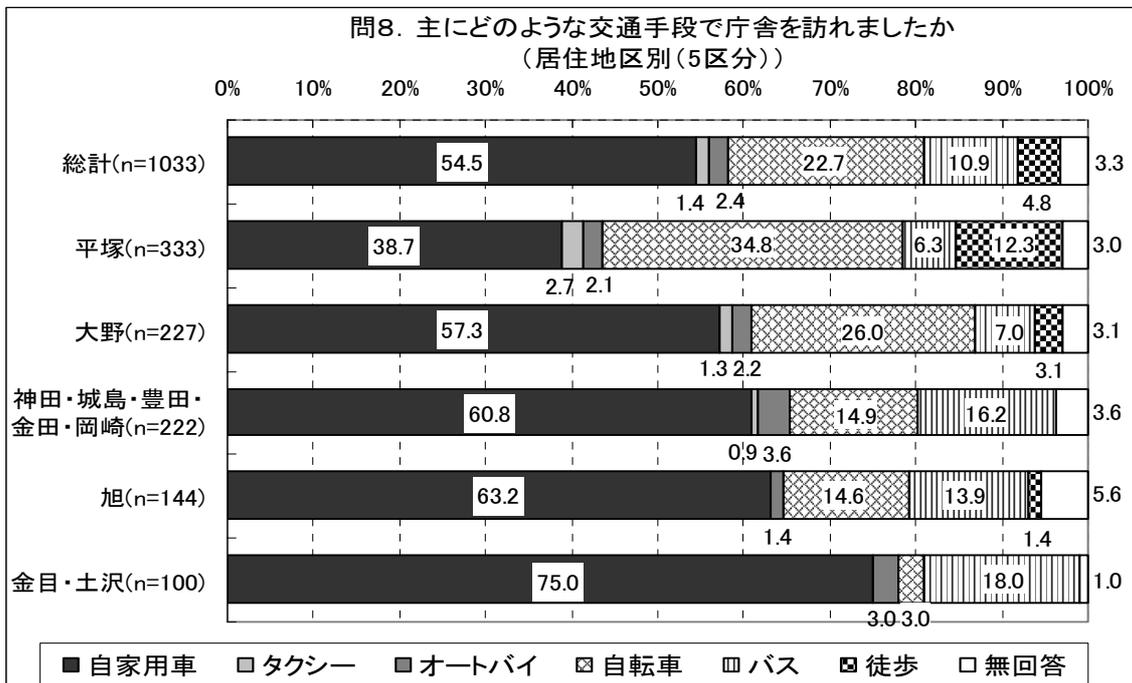
### ○年齢別

年齢別では、各年代とも「自家用車」が最も多いが、30～50歳代が60%強、20歳代と60歳代が50%強であるのに対し、70歳代以上では35%程度であり、他の年代に比べて「自家用車」の割合が低い。一方、70歳代以上では「バス」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

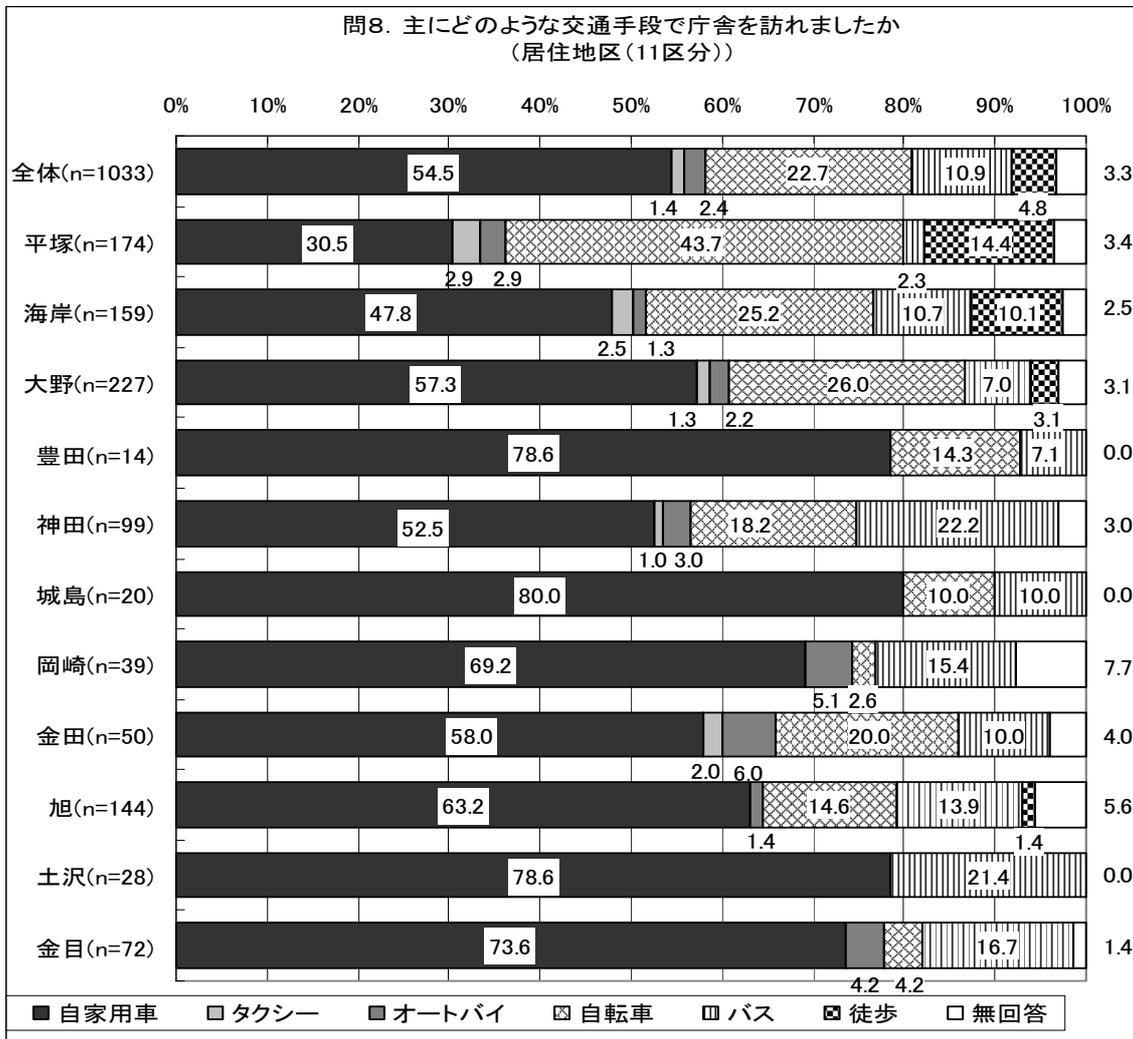


### ○居住地区別

居住地区別(5区分)では、各地区とも「自家用車」が最も多いが、平塚地区では38.7%であるのに対し、大野地区、神田・城島・豊田・金田・岡崎地区、旭地区では60%前後、金目・土沢地区では75%を占める。一方、平塚地区では「自転車」が34.8%を占めている。



また、居住地区別(11区分)に市庁舎来訪時の交通手段をみると、平塚地区を除く各地区で「自家用車」が最も多くなっている。一方、平塚地区では「自転車」(43.7%)が最も多い交通手段となっている。

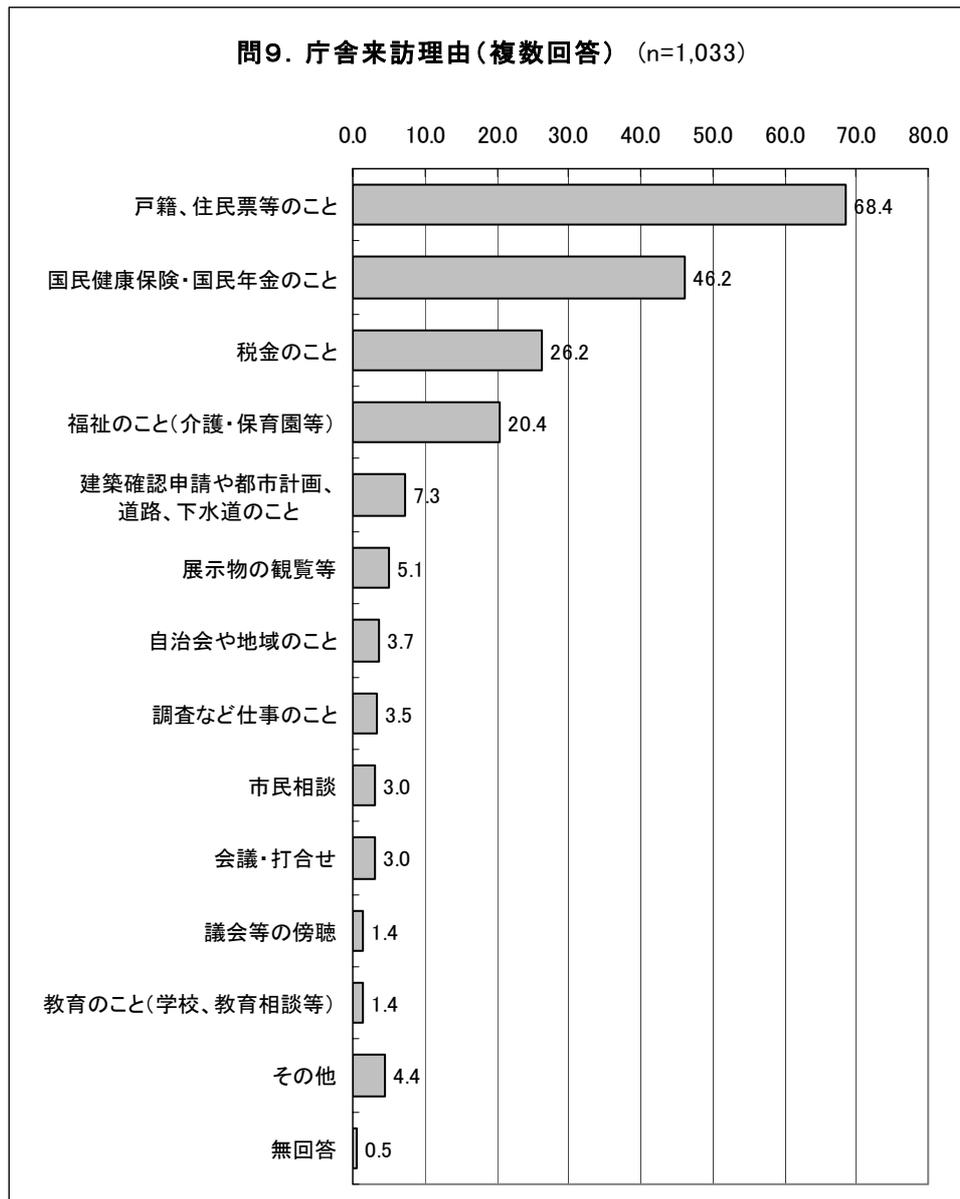


#### (4) 訪問理由

庁舎を訪れたことのある人について、来訪理由をみると、「戸籍、住民票等」(68.4%)が最も多く、次いで「国民健康保険・国民年金」(46.2%)、「税金」(26.2%)、「福祉(介護・保育園等)」(20.4%)が多い。

問9. どのような用件で庁舎を訪れましたか(該当するものすべてに○)。

【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】



(注) 構成比の多い順に並べ替えている(「その他」「無回答」を除く)

■回答者属性別

○性別

庁舎への来訪理由を性別で見ると、男女とも「戸籍、住民票等」が最も多く、次いで「国民健康保険・国民年金」「税金」が多くなっており、性別で大きな差はみられない。

問9 庁舎来訪理由(性別)

	1位	2位	3位
全体 (n=1,033)	戸籍、住民票等のこと (68.4%)	国民健康保険・国民年金のこと (46.2%)	税金のこと (26.2%)
男 (n=460)	戸籍、住民票等のこと (71.5%)	国民健康保険・国民年金のこと (41.3%)	税金のこと (25.7%)
女 (n=560)	戸籍、住民票等のこと (66.3%)	国民健康保険・国民年金のこと (50.4%)	税金のこと (26.6%)

○年齢

年齢別では、20～60歳代では「戸籍、住民票等」が最も多いのに対し、70歳代以上では「国民健康保険・国民年金」が最も多くなっている。また、20～60歳代では、いずれの年代も2位は「国民健康保険・国民年金」となっているが、3位をみると20～30歳代が「福祉」であるのに対し、50～60歳代では「税金」となっている。

問9 庁舎来訪理由(年齢別)

	1位	2位	3位
全体 (n=1,033)	戸籍、住民票等のこと (68.4%)	国民健康保険・国民年金のこと (46.2%)	税金のこと (26.2%)
20～29歳 (n=103)	戸籍、住民票等のこと (70.9%)	国民健康保険・国民年金のこと (61.2%)	福祉のこと(介護・保育園等) (21.6%)
30～39歳 (n=153)	戸籍、住民票等のこと (75.8%)	国民健康保険・国民年金のこと (33.3%)	福祉のこと(介護・保育園等) (24.8%)
40～49歳 (n=142)	戸籍、住民票等のこと (73.9%)	国民健康保険・国民年金のこと (28.9%)	福祉のこと(介護・保育園等) (20.4%) ----- 税金のこと(20.4%)
50～59歳 (n=235)	戸籍、住民票等のこと (72.3%)	国民健康保険・国民年金のこと (40.9%)	税金のこと (27.7%)
60～69歳 (n=211)	戸籍、住民票等のこと (70.6%)	国民健康保険・国民年金のこと (62.6%)	税金のこと (35.5%)
70～79歳 (n=127)	国民健康保険・国民年金のこと (52.0%)	戸籍、住民票等のこと (50.4%)	税金のこと (35.4%)
80歳以上 (n=43)	国民健康保険・国民年金のこと (60.5%)	戸籍、住民票等のこと (44.2%)	福祉のこと(介護・保育園等) (41.9%)

## ○職業

職業別の来訪目的をみると、勤め人、自営業、無職では「戸籍、住民票等」が最も多く、次いで「国民健康保険・国民年金」「税金」が多い。このうち、勤め人では1位の「戸籍、住民票等」が73.4%と他の職業に比べて割合が高く、逆に2位の「国民健康保険・国民年金」(37.3%)は他の職業に比べて低くなっている。

問9 庁舎来訪理由(職業別)

	1位	2位	3位
全体 (n=1,033)	戸籍、住民票等のこと (68.4%)	国民健康保険・国民年金のこと (46.2%)	税金のこと (26.2%)
勤め人 (n=440)	戸籍、住民票等のこと (73.4%)	国民健康保険・国民年金のこと (37.3%)	税金のこと (20.0%)
自営業 (n=88)	戸籍、住民票等のこと (61.4%)	国民健康保険・国民年金のこと (50.0%)	税金のこと (30.7%)
学生 (n=29)	国民健康保険・国民年金のこと (69.0%)	戸籍、住民票等のこと (62.1%)	税金のこと (6.9%)
無職 (n=458)	戸籍、住民票等のこと (65.9%)	国民健康保険・国民年金のこと (53.5%)	税金のこと (32.5%)

## ○居住地区

居住地区別では、「戸籍、住民票等」が最も多く、次いで「国民健康保険・国民年金」「税金」が多くなっており、居住地区別に大きな差はみられない。

問9 庁舎来訪理由(居住地区別(5区分))

	1位	2位	3位
全体 (n=1,033)	戸籍、住民票等のこと (68.4%)	国民健康保険・国民年金のこと (46.2%)	税金のこと (26.2%)
平塚 (n=333)	戸籍、住民票等のこと (69.4%)	国民健康保険・国民年金のこと (45.0%)	税金のこと (24.3%)
大野 (n=227)	戸籍、住民票等のこと (76.2%)	国民健康保険・国民年金のこと (41.0%)	税金のこと (26.0%)
神田・城島・豊田・ 金田・岡崎(n=222)	戸籍、住民票等のこと (63.1%)	国民健康保険・国民年金のこと (49.5%)	税金のこと (27.9%)
旭(n=144)	戸籍、住民票等のこと (63.9%)	国民健康保険・国民年金のこと (48.6%)	税金のこと (29.2%)
金目・土沢 (n=100)	戸籍、住民票等のこと (68.0%)	国民健康保険・国民年金のこと (49.0%)	税金のこと (23.0%)

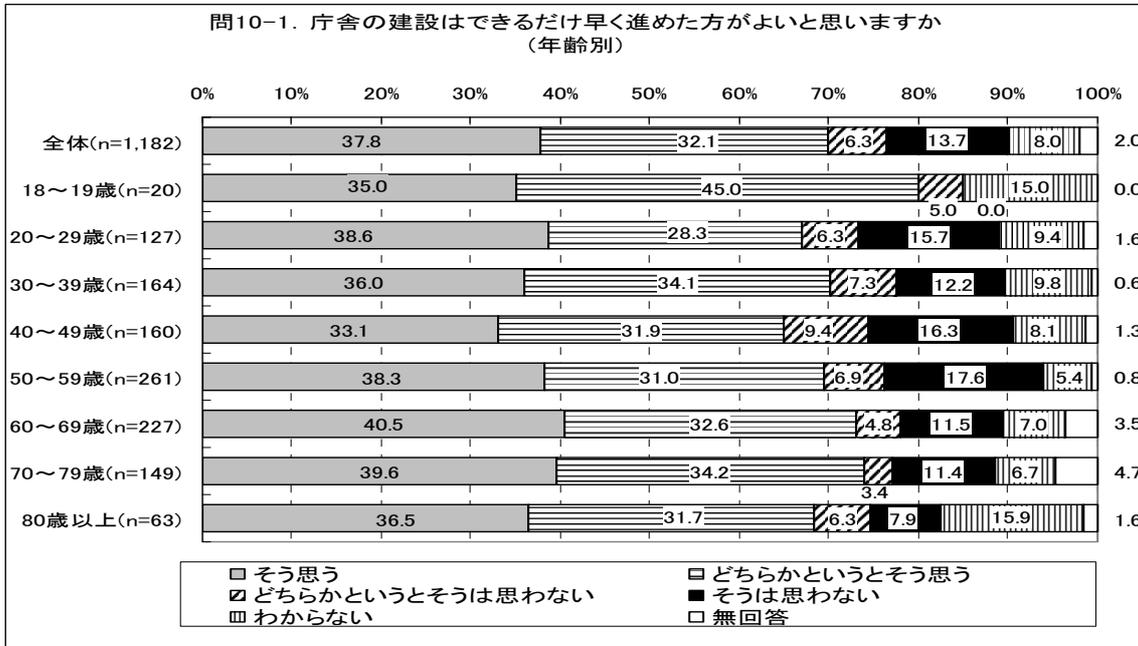


■回答者属性別

①庁舎の建設はできるだけ早く進めた方がよいと思いますか。

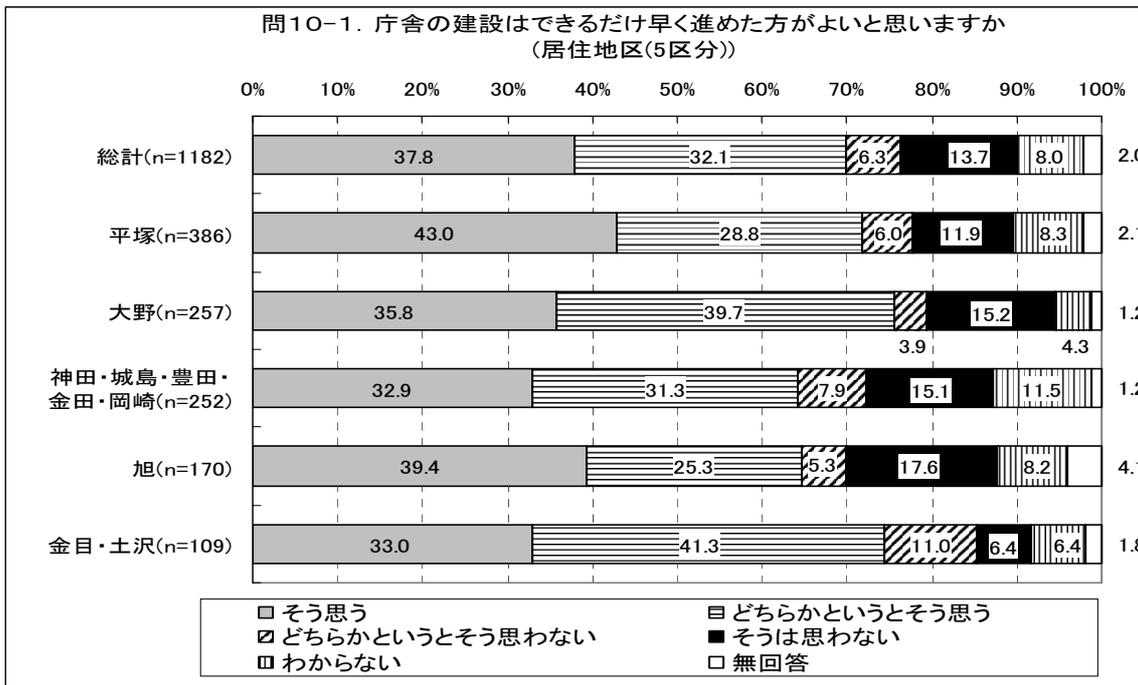
○年齢

「庁舎の建設はできるだけ早く進めた方がよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が6~8割を占めている。その中で40歳代では、肯定的意見が多いものの他の年代に比べてその割合が若干低い。



○居住地区

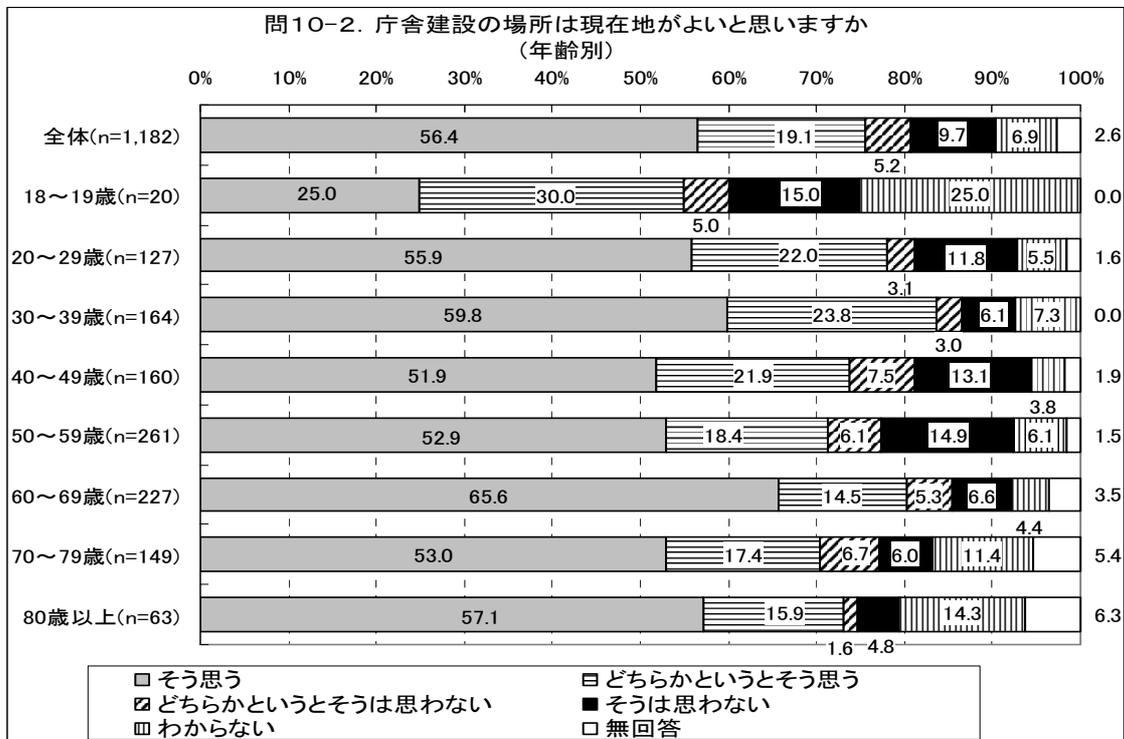
「庁舎の建設はできるだけ早く進めた方がよい」かどうかについて、居住地区別(5区分)でみると、いずれの地区も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が6~7割を占めている。その中で、大野地区と金目・土沢地区では他の地区に比べて肯定的意見の占める割合が多くなっている。逆に、神田・城島・豊田・金田・岡崎地区と旭地区では、肯定的意見が多いものの他の地区に比べてその割合が低い。



②庁舎建設の場所は現在地がよいと思いますか。

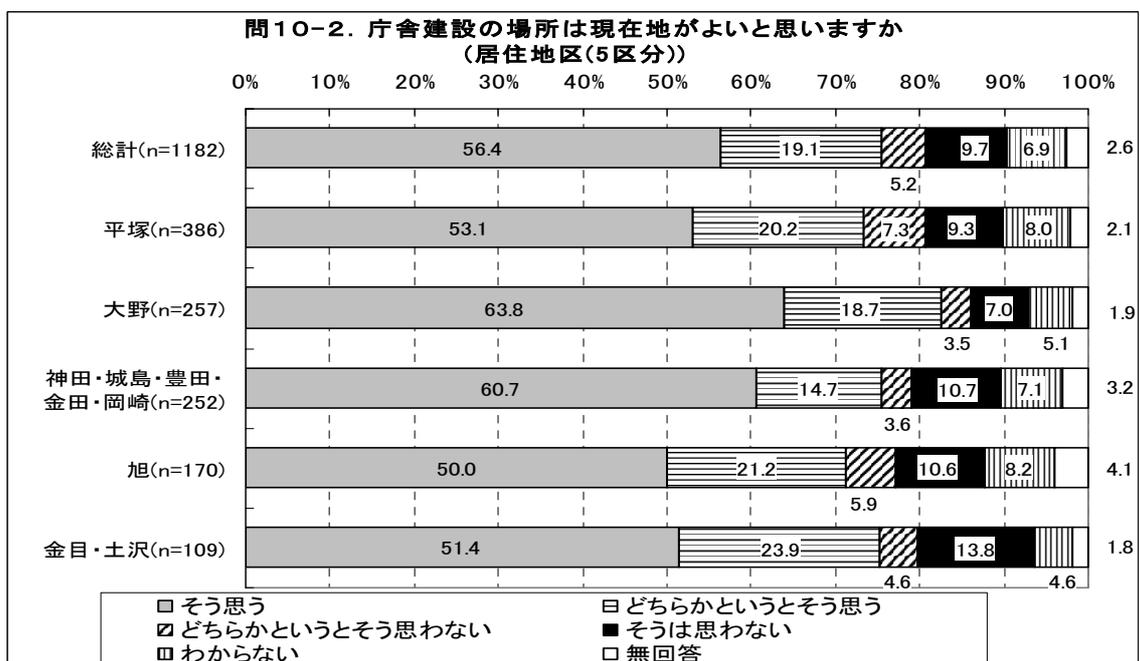
○年齢

「庁舎建設の場所は現在地がよい」かどうかについて、年齢別にみると、20歳代以上で各年代とも肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が70%以上を占めており、特に30歳代と60歳代では肯定的意見が80%以上と高くなっている。

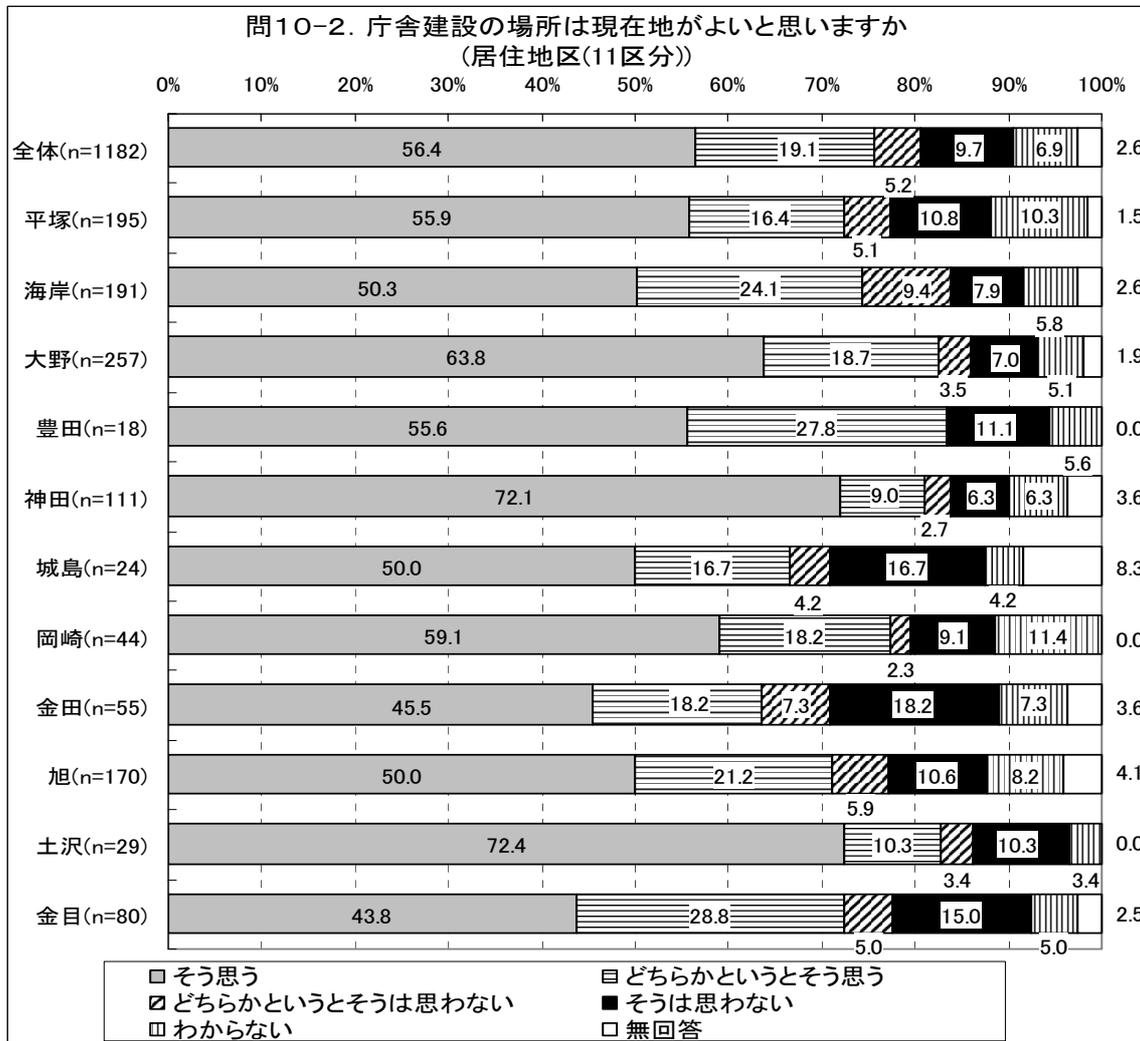


○居住地区

「庁舎建設の場所は現在地がよい」かどうかについて、居住地区別(5区分)でみると、いずれの地区も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が7割以上を占めている。特に、大野地区では肯定的意見が82.5%を占め、他の地区に比べて肯定的意見の占める割合が高い。



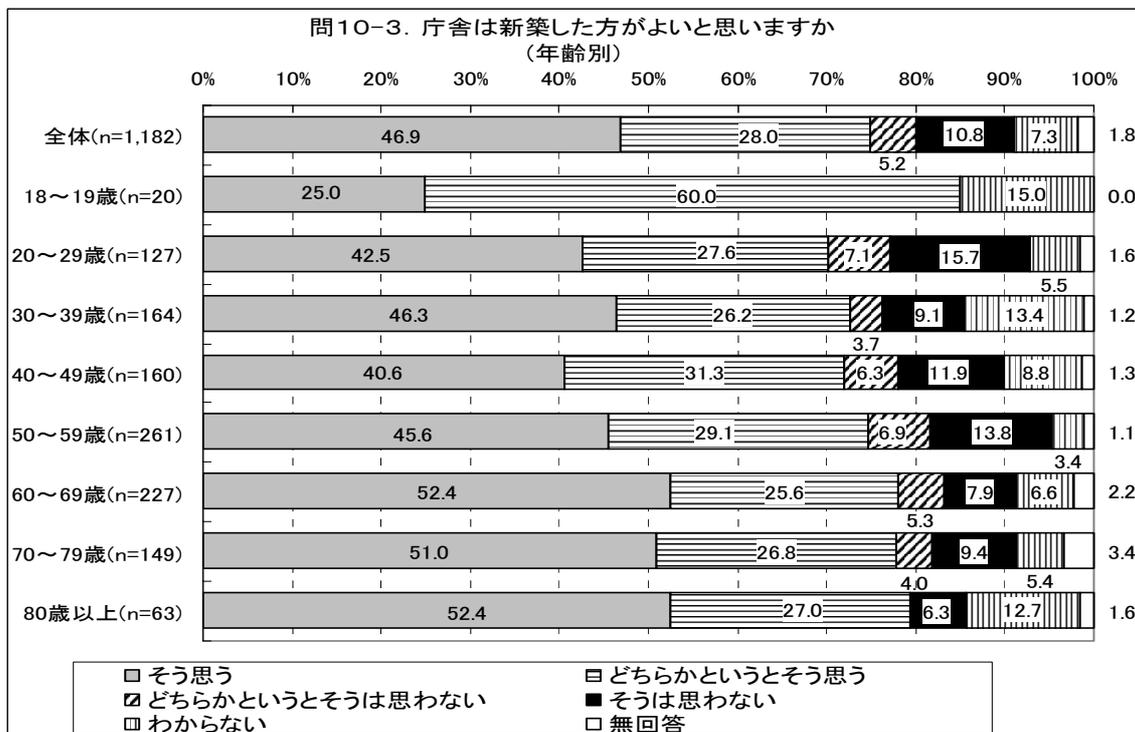
また、「庁舎建設の場所は現在地がよい」かどうかについて、居住地区別(11区分)でみると、いずれの地区も肯定的意見が6~8割を占めており、特に、大野地区、神田地区等で肯定的意見が8割以上となっている。



### ③庁舎は新築した方がよいと思いますか。

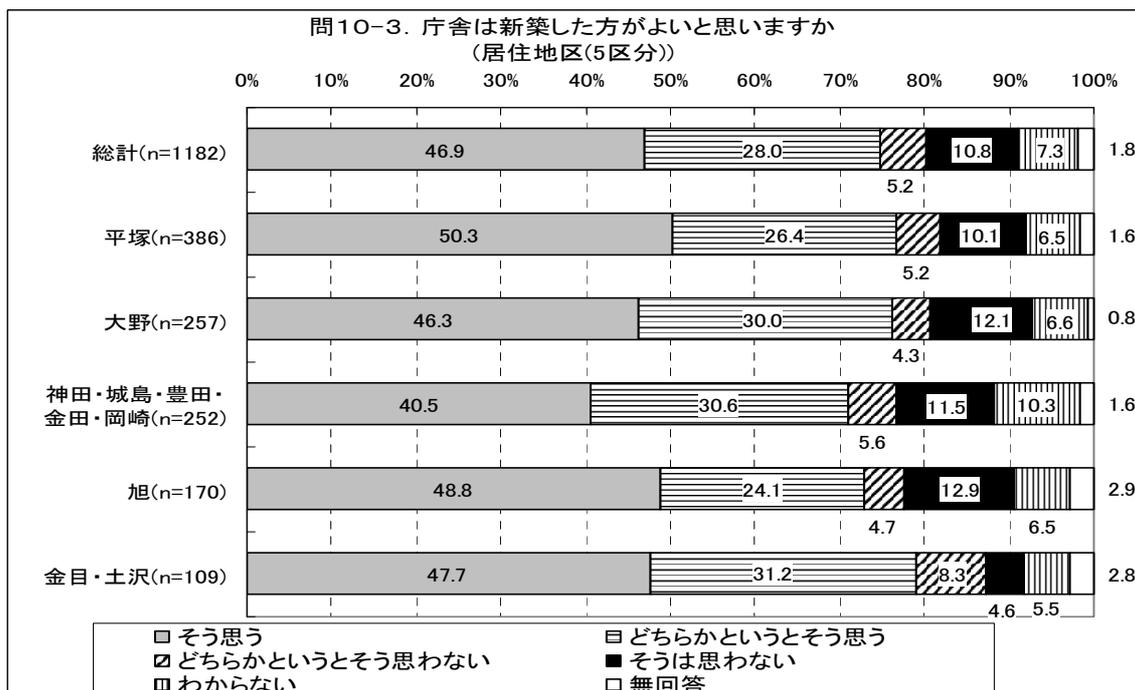
#### ○年齢

「庁舎は新築した方がよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が7割以上を占めている。年代別に比較すると、20～50歳代に比べて60歳代以上では肯定的意見の占める割合が高く、総じて年齢層が上がるほど、肯定的意見の割合が高くなっている。



#### ○居住地区

「庁舎は新築した方がよい」かどうかについて、居住地区別(5区分)にみると、いずれの地区も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が7割以上を占めており、各地区に大きな差はみられない。

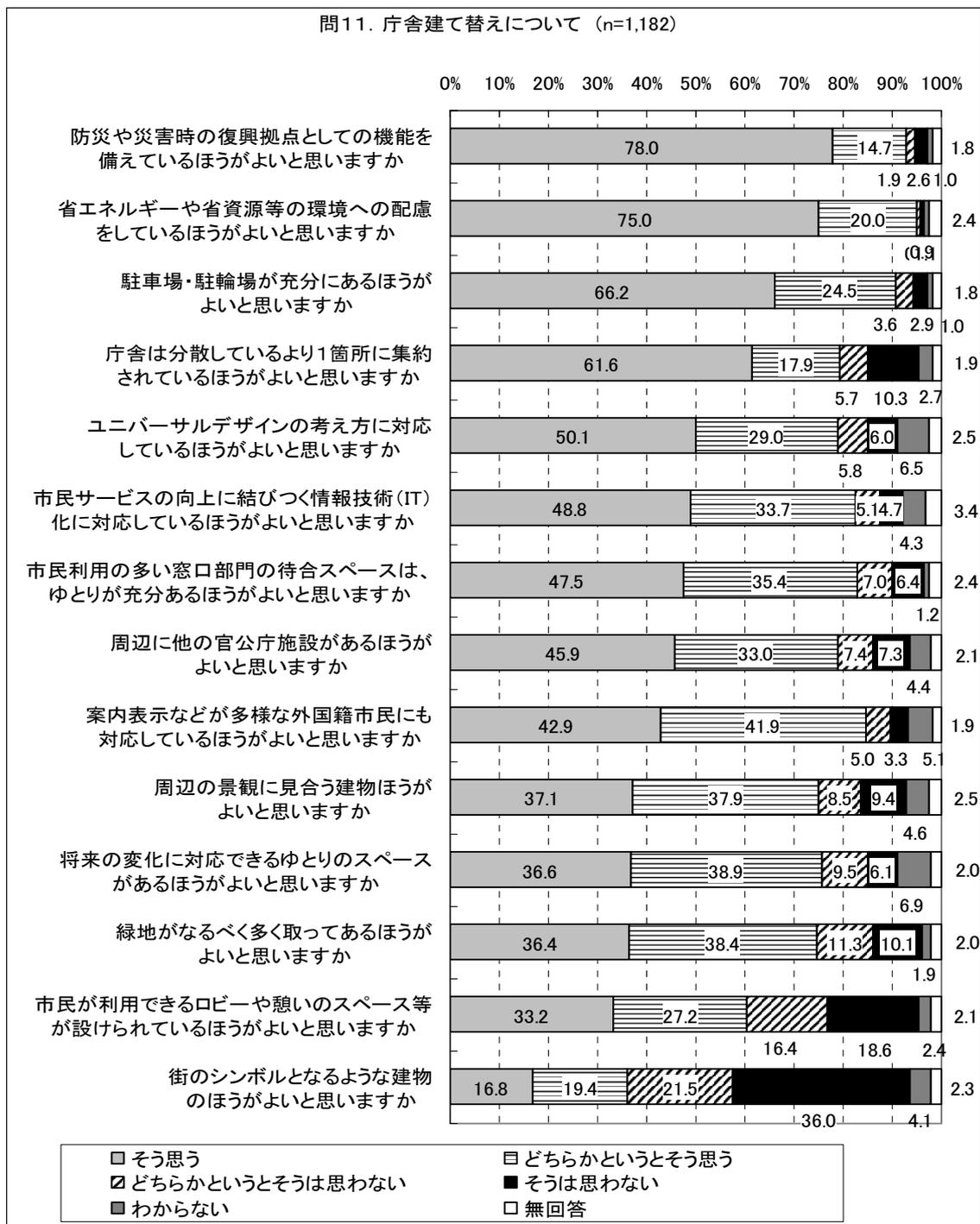


#### 4. これからの市役所庁舎のあり方

これからの庁舎のあり方については、大半の項目で肯定的意見(「そう思う」+「どちらかという」と「そう思う」)が過半を占めている。

特に肯定的意見が多かった項目は、「環境への配慮」(95.0%)、「防災や災害時の復興拠点」(92.7%)、「駐車場・駐輪場」(90.7%)などである。

逆に、「街のシンボルとなるような建物」については、否定的意見(「そうは思わない」+「どちらかという」と「そうは思わない」)が57.5%を占めている。



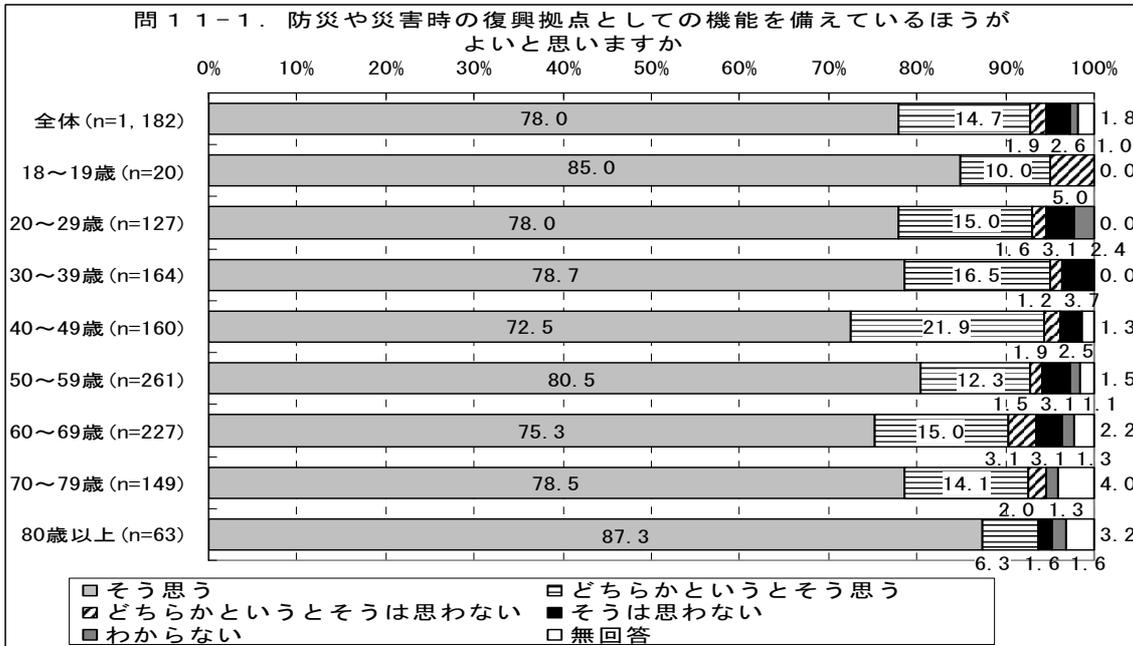
(注) 「そう思う」の構成比が多い順に項目を並べ替えている

■回答者属性別

①防災や災害時の復興拠点としての機能を備えているほうがよいと思いますか

○年齢

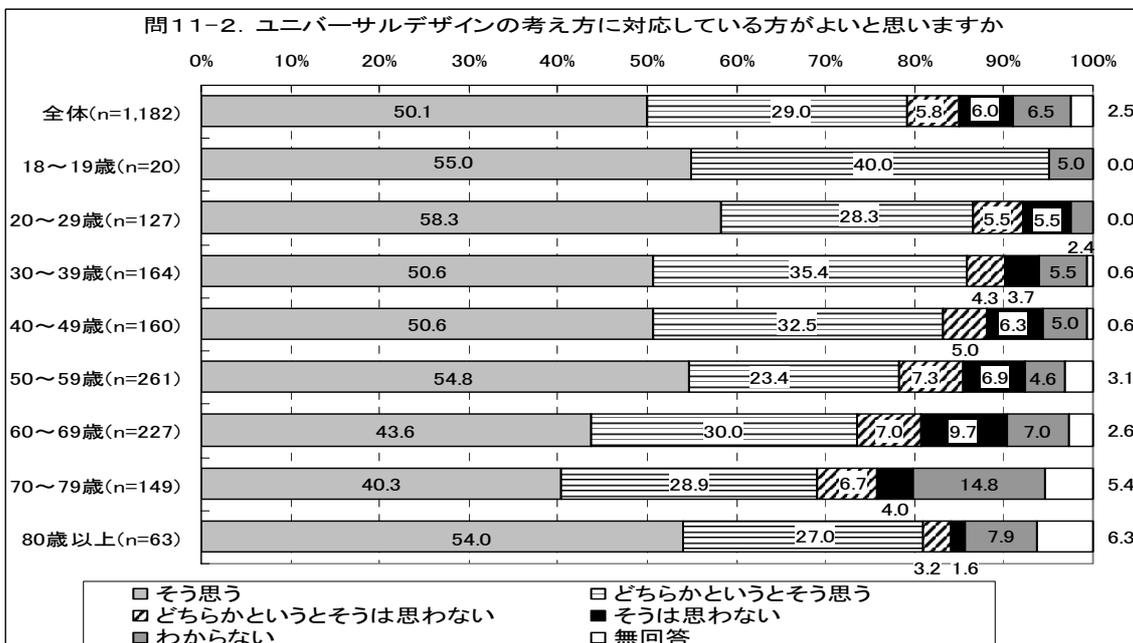
「防災や災害時の復興拠点としての機能を備えているほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が9割以上を占めており、各年代に共通して市庁舎に期待されている機能といえる。



②ユニバーサルデザインの考え方に対応しているほうがよいと思いますか

○年齢

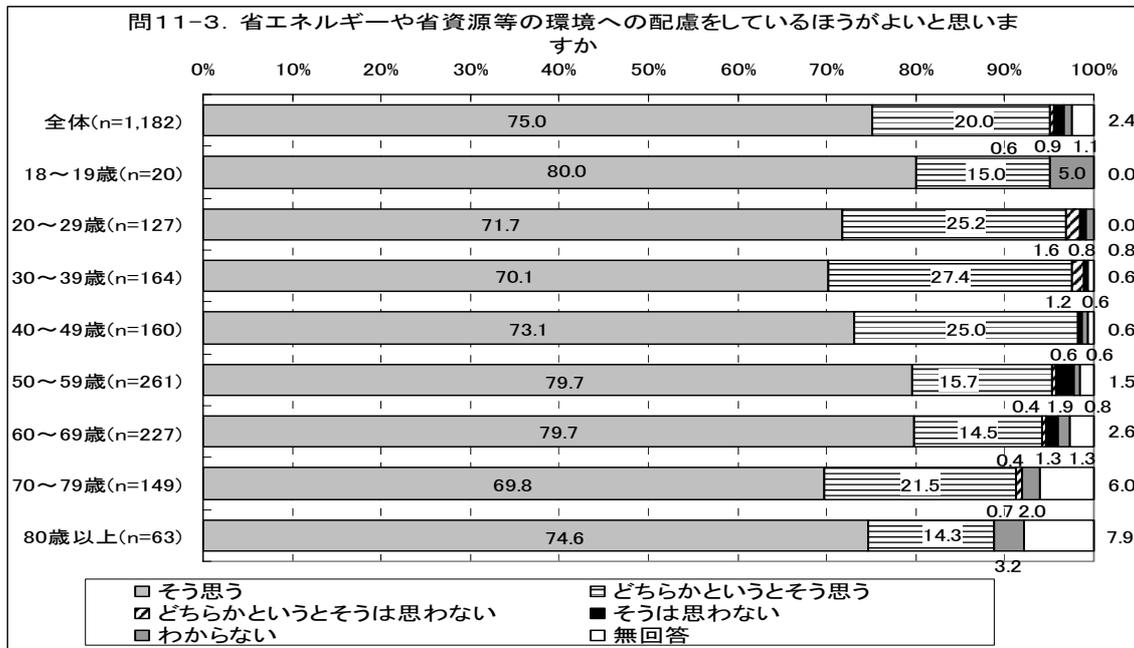
「ユニバーサルデザインの考え方に対応しているほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が6割以上を占めている。20~40歳代では肯定的意見が8割以上を占めているのに対し、50~70歳代では年齢層が上がるごとに肯定的意見の割合が低くなっている。また、70歳代では、「わからない」が14.8%と、60歳代以下の各年代に比べて多くなっている。



### ③省エネルギーや省資源等の環境への配慮をしているほうがよいと思いますか

#### ○年齢

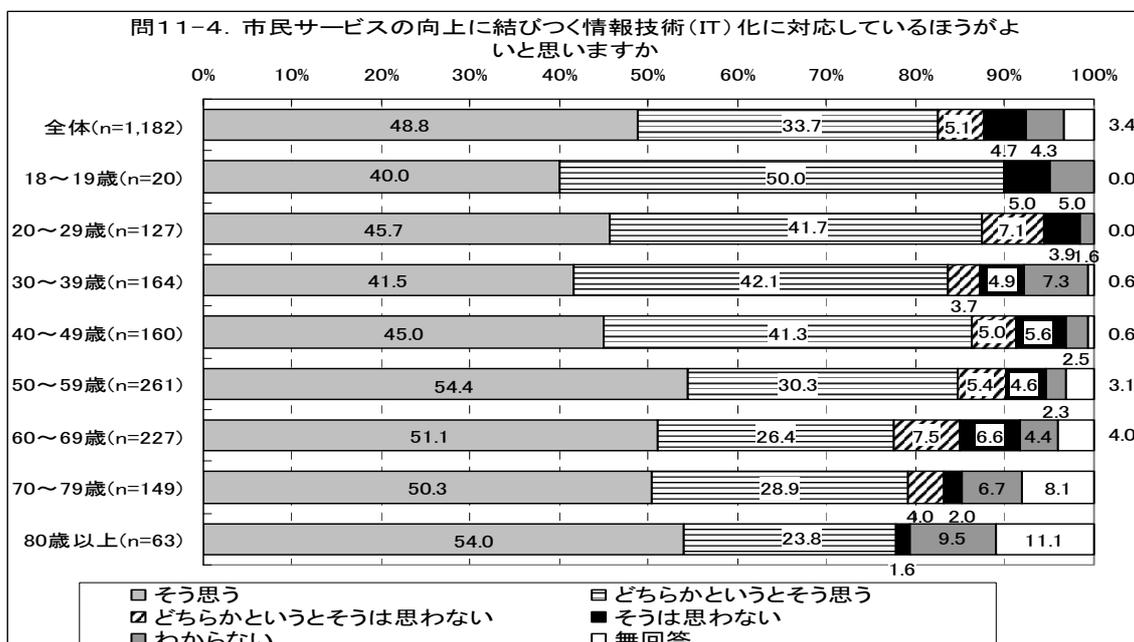
「省エネルギーや省資源等の環境への配慮をしているほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、10～70 歳代では各年代とも肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が9割以上を占めており、80歳代でも9割弱を占めている。そのうち「そう思う」が各年代とも7～8割を占めるなど、各年代に共通して市庁舎に期待されている機能といえる。



### ④市民サービスの向上に結びつく情報技術（IT）化に対応しているほうがよいと思いますか

#### ○年齢

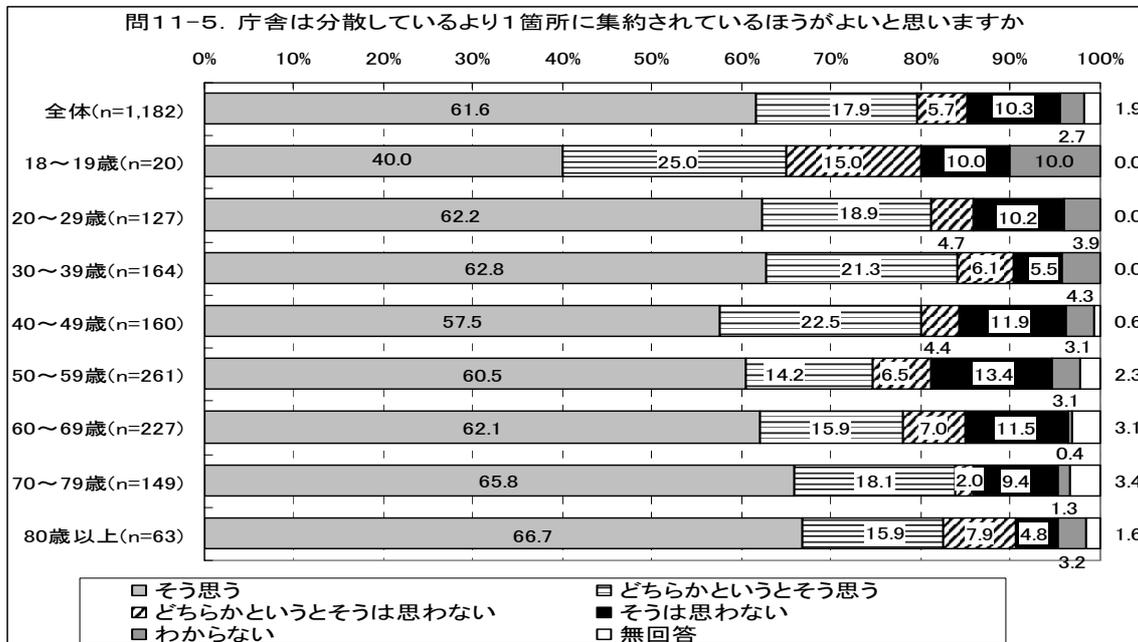
「市民サービスの向上に結びつく情報技術（IT）化に対応しているほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、各年代とも肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が7割以上を占めている。特に10～50歳代では肯定的意見が8割以上を占めており、年代によって若干の差が見られる。



⑤庁舎は分散しているより1箇所に集約されているほうがよいと思いますか

○年齢

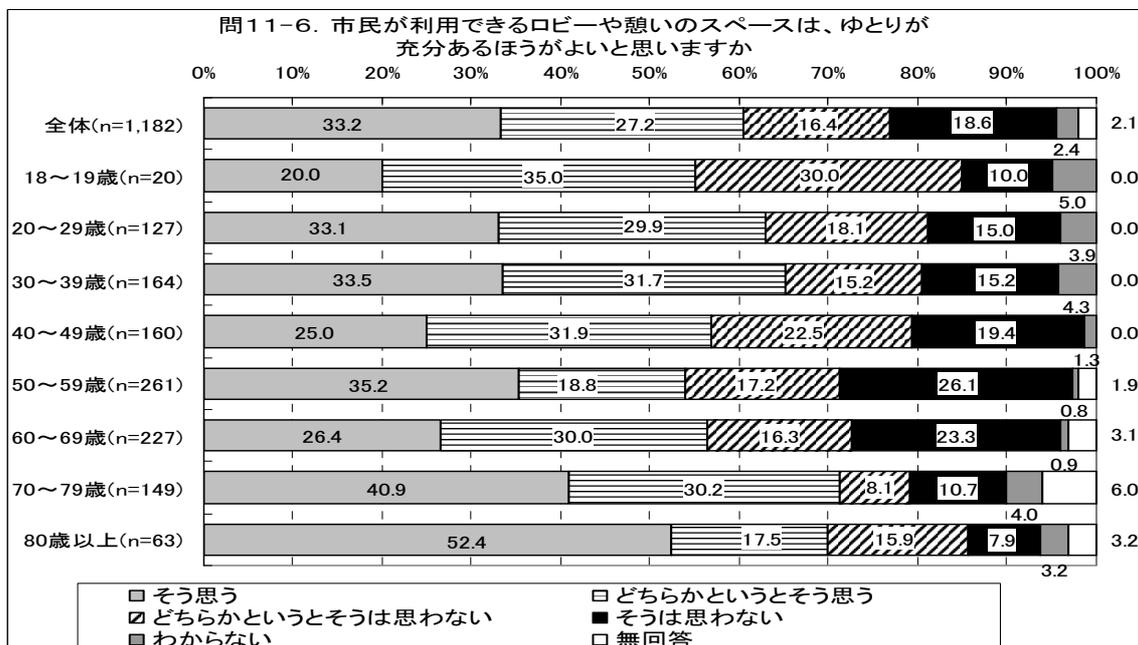
「庁舎は分散しているより1箇所に集約されているほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、20～70歳代の各年代とも肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が7割以上を占めている。特に、20～40歳代と70歳代以上で肯定的意見が8割を占めている。



⑥市民が利用できるロビーや憩いのスペース等が設けられているほうがよいと思いますか

○年齢

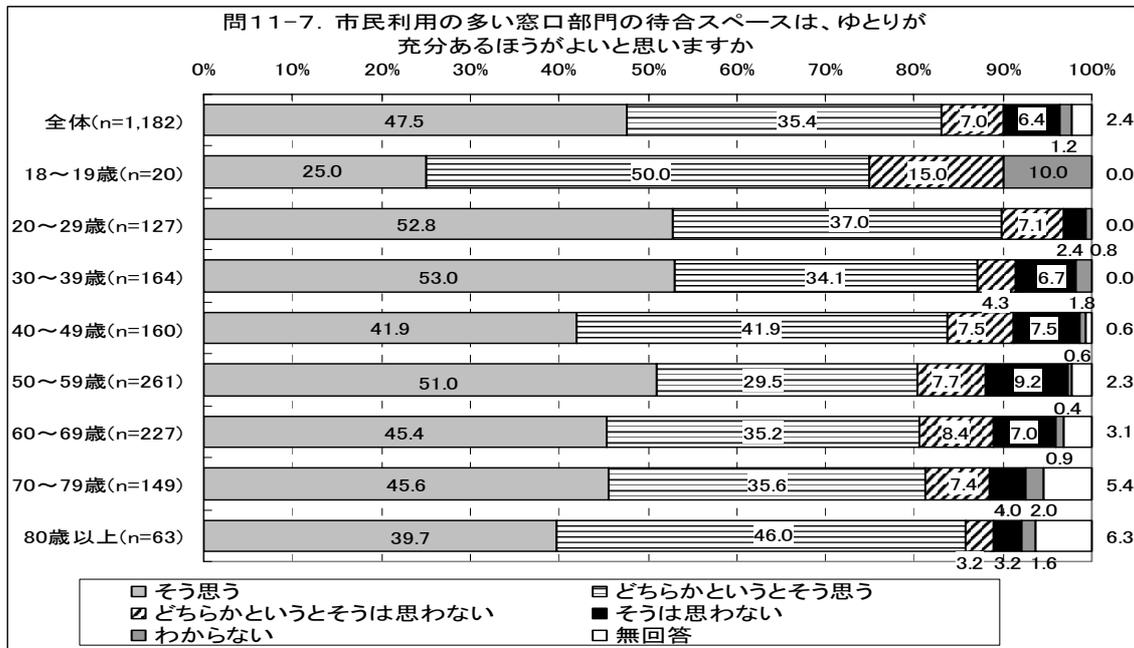
「市民が利用できるロビーや憩いのスペース等が設けられているほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代とも肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が5割以上を占めている。年代別に比較すると70歳代以上で肯定的意見が7割前後を占めているのに対し、40～60歳代では肯定的意見は5割台で、否定的意見(「そうは思わない」+「どちらかというとは思わない」)が4割を占めており、年代によって意識の差がみられる。



⑦市民利用の多い窓口部門の待合スペースは、ゆとりが充分あるほうがよいと思いますか

○年齢

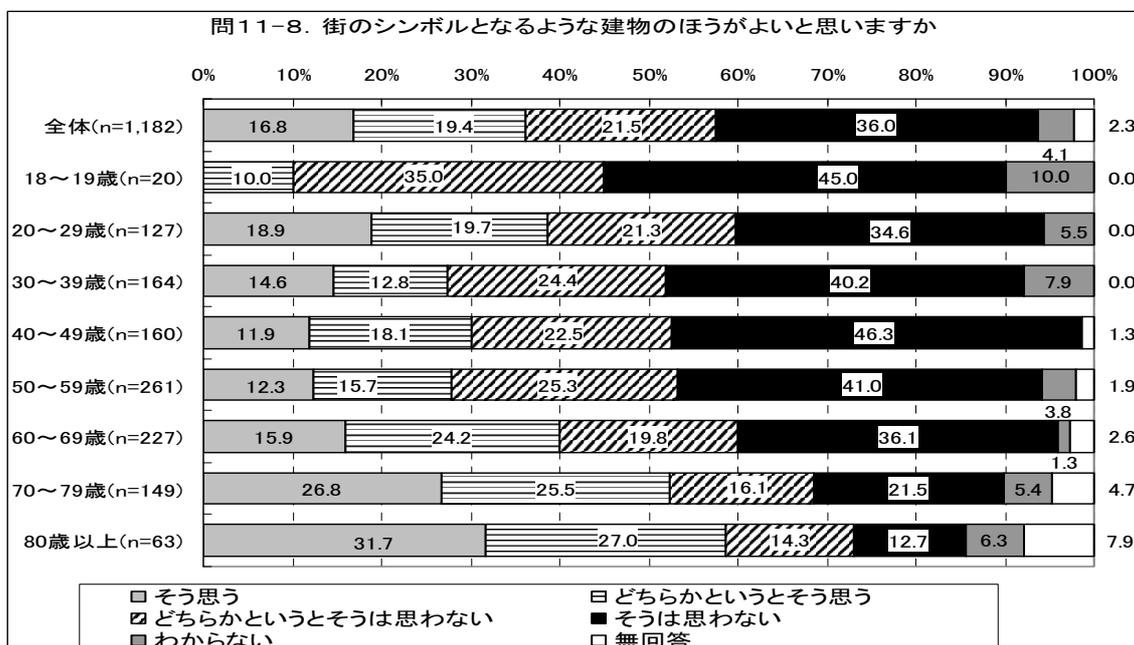
「市民利用の多い窓口部門の待合スペースは、ゆとりが充分あるほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、20～70歳代の各年代とも肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う思う」)が8割を超えており、特に20歳～30歳代では他の年代に比べて肯定的意見の占める割合が高い。



⑧街のシンボルとなるような建物のほうがよいと思いますか

○年齢

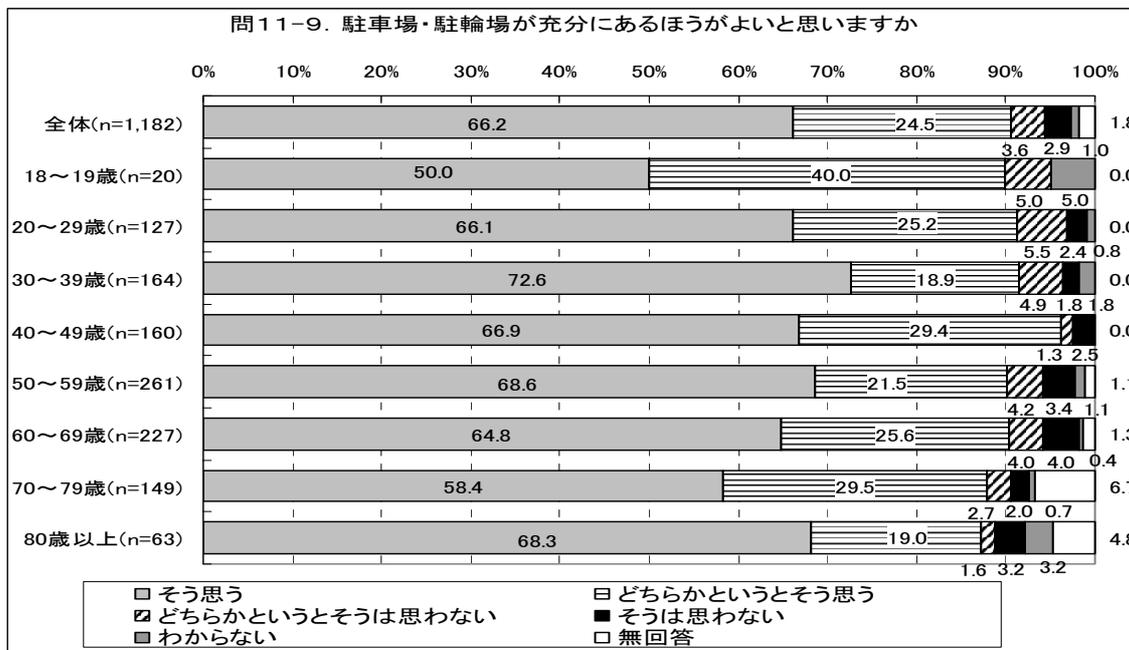
「街のシンボルとなるような建物のほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、10～60歳代では否定的意見(「そうは思わない」+「どちらかというと思うは思わない」)が5割以上を占めており、特に30～50歳代では否定的意見が6割を超えている。一方、70歳代以上では肯定的意見が5割を超えており、年代によって意識の差がみられる。



⑨駐車場・駐輪場が充分にあるほうがよいと思いますか

○年齢

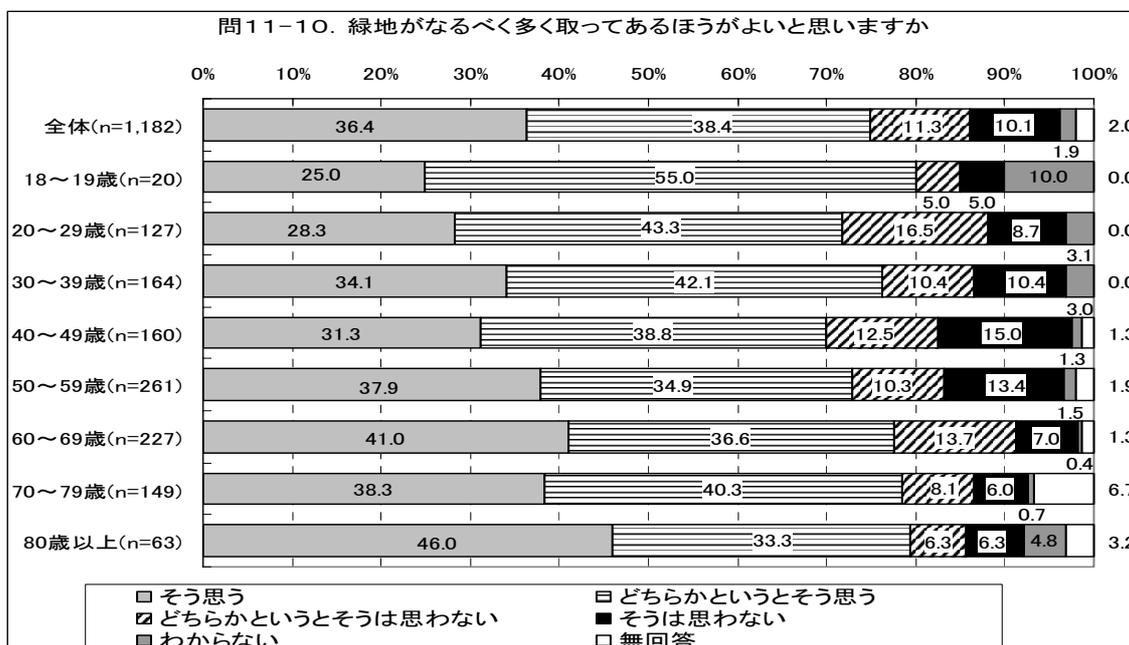
「駐車場・駐輪場が充分にあるほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が8割を超えている。そのうち10～60歳代では肯定的意見が9割を占めており、各年代に共通して駐車場・駐輪場の十分な確保が期待されている。



⑩緑地がなるべく多く取ってあるほうがよいと思いますか

○年齢

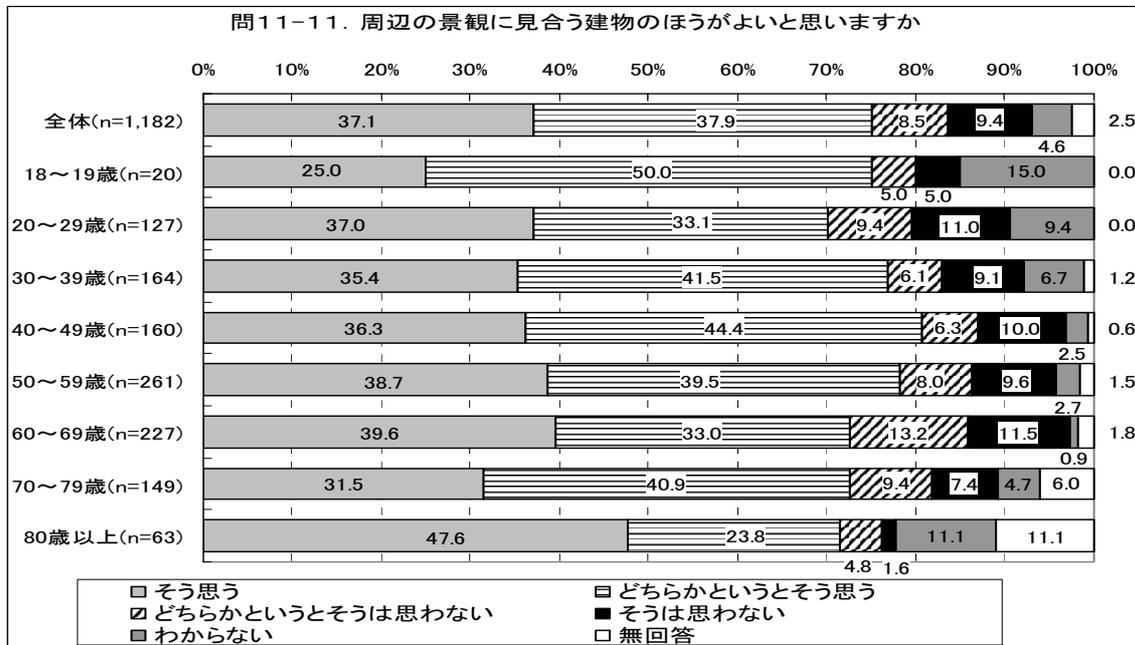
「緑地がなるべく多く取ってあるほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が7割を超えている。20歳代と40歳代で否定的意見が1/4以上を占めており、他の年代に比べて否定的意見の割合が高くなっている。



⑪周辺の景観に見合う建物のほうがよいと思いますか

○年齢

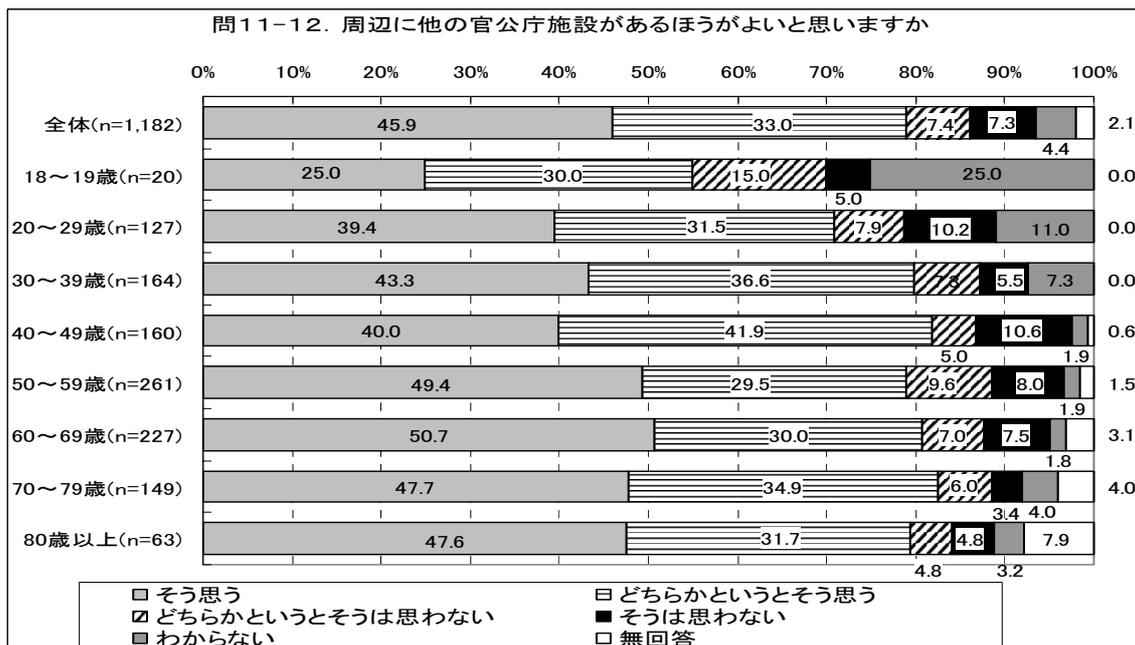
「周辺の景観に見合う建物のほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が7割を超えている。特に40歳代では8割を超えており、他の年代に比べて肯定的意見の割合が高い。



⑫周辺に他の官公庁施設があるほうがよいと思いますか

○年齢

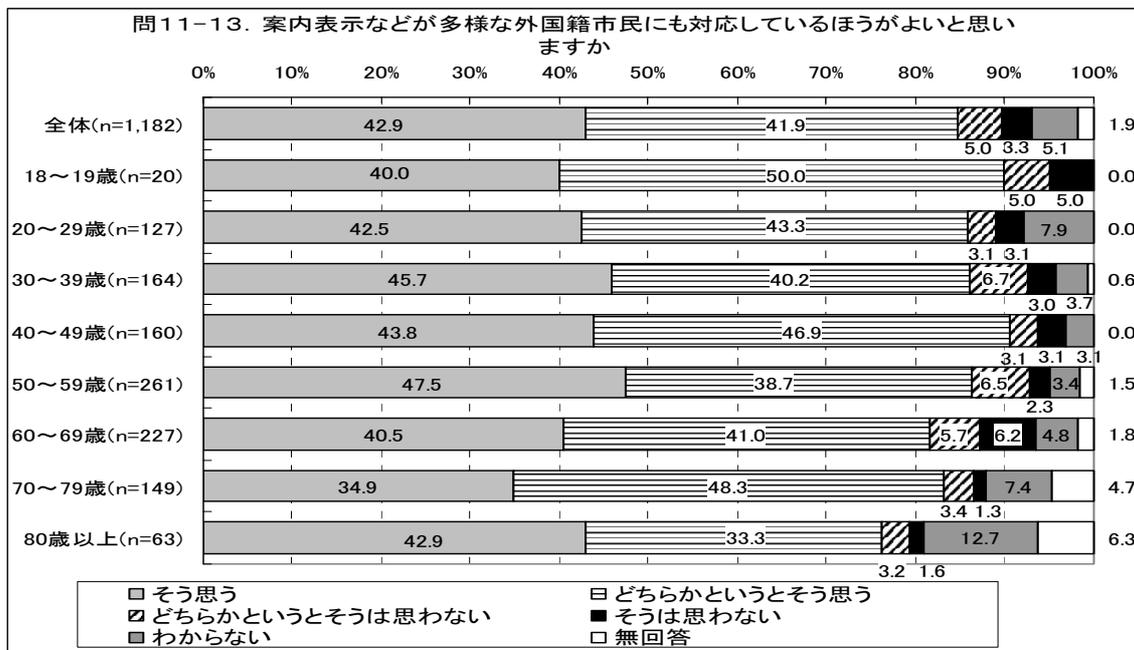
「周辺に他の官公庁施設があるほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、30歳代以上の各年代で肯定的意見(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が8割前後を占め、20歳代でも肯定的意見が7割を超えている。



⑬案内表示などが多様な外国籍市民にも対応しているほうがよいと思いますか

○年齢

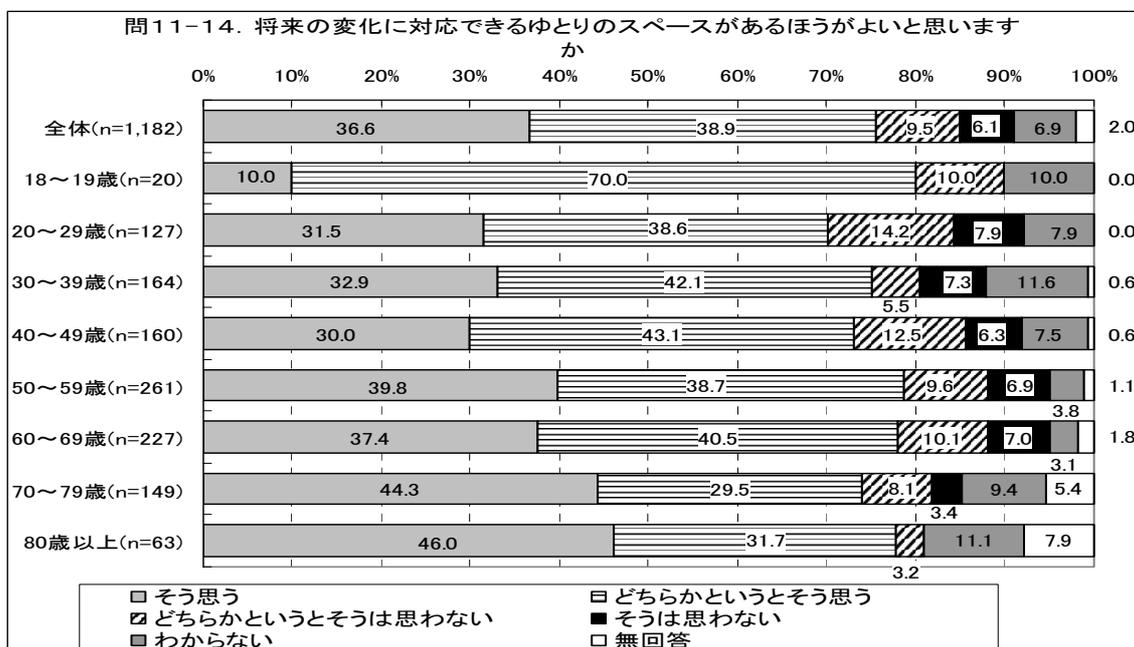
「案内表示などが多様な外国籍市民にも対応しているほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、10～70歳代の各年代で肯定的意見（「そう思う」+「どちらかというと思う」）が8割を超えており、また、80歳以上でも7割を超えるなど、各年代に共通して肯定的意見の割合が高い。



⑭将来の変化に対応できるゆとりのスペースがあるほうがよいと思いますか

○年齢

「将来の変化に対応できるゆとりのスペースがあるほうがよい」かどうかについて、年齢別にみると、いずれの年代も肯定的意見（「そう思う」+「どちらかというと思う」）が7割を超えている。年代別に比較すると、20歳代が他の年齢層に比べて肯定的意見の割合が若干低く、否定的意見が2割以上となっている。



## 5. 自由回答

### (1) 市役所庁舎について

市役所庁舎に関する自由回答では、553 件の回答があった。以下では、553 件の自由回答について、①市役所庁舎の建替えに対する考え方による分類、②庁舎のあり方・機能等による分類、という 2 つの視点を組み合わせて分類を行う。なお、分類にあたっては、1 つの回答の中に複数の項目に関する記載があった場合には、各項目に重複して 1 件ずつ計上している。従って、件数の合計は回答のあった 553 件を上回る。

#### ①市役所庁舎の建替えに対する考え方による分類

市役所庁舎の建替えに対する賛成又は反対という視点から自由意見を分類すると、「明確に賛同している意見」が 59 件、「明確な賛同は記述していないが、それを前提とした意見」が 200 件、「条件つき賛成意見」が 37 件である。

このうち、「明確な賛同は記述していないが、それを前提とした意見」では、「事業手法・建設費」や「建設場所」、「新庁舎の基本的な考え方(人にやさしい庁舎)」等に関する意見が多い。

これに対し、「否定的なニュアンスを含む意見」が 32 件、「反対、あるいはその意思が受け取れる意見」が 42 件である。

また、「建替えに関する明確な意思を判断できない意見」が 157 件あり、その内容として「建物の機能(窓口機能)」「事業手法・建設費」等に関する意見が多くなっている。

問 12. 市役所庁舎について、自由なご意見・ご提案をお書きください。

(市役所庁舎の建替えに対する考え方による分類)

分類	件数
庁舎の建替えに明確に賛同している意見	59
庁舎の建替えに関する明確な賛同は記述していないが、それを前提とした意見	200
事業手法・建設費に関わるもの	(66)
建設場所に関わるもの	(47)
新庁舎の基本的な考え方(人にやさしい庁舎)	(45)
建物の機能に関わるもの(窓口機能：窓口、待合空間、総合案内など)	(29)
新庁舎の基本的な考え方(市民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎)	(27)
建物の機能に関わるもの(災害対策本部など、災害発生時の対応可能となる空間)	(19)
新庁舎の基本的な考え方(市民サービス、事務能率の向上を目指した機能的な庁舎)	(19)
建物の機能に関わるもの(駐車場)	(16)
新庁舎の基本的な考え方(環境との共生、周辺との調和ある庁舎)	(15)
条件つき賛成意見(仕方なく、やむを得ず等)	37
どちらかというところ、庁舎の建替えに否定的なニュアンスを含む意見	32
庁舎の建替えに反対、あるいはその意思が受け取れる意見	42
建替えに関する明確な意思を判断できない意見	157
市政全般その他の意見	113

なお、上記の各分類の主な意見を次頁に示す。

問 12. 市役所庁舎について、自由なご意見・ご提案をお書きください。(主な意見)

分類	件数	主な意見
庁舎の建替えに明確に賛同している意見	59	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の復興拠点となる庁舎は早急に建替えが必要である</li> <li>・市民が使いやすく、安全性や耐震性に配慮した庁舎にしてほしい</li> <li>・質素でも使いやすく、安心して利用できる市役所にしてほしい</li> <li>・市民に愛される、機能的でサービスの行き届く庁舎を望む など</li> </ul>
庁舎の建替えに関する明確な賛同は記述していないが、それを前提とした意見	200	
事業手法・建設費に関わるもの	(66)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルで無駄な費用のかからない建物にすべき</li> <li>・メンテナンスのことを考えた建物にすべき</li> <li>・財政や市民への負担が増えないようにしてほしい</li> <li>・庁舎建設について適宜市民に分かりやすい方法で知らせて欲しい など</li> </ul>
建設場所に関わるもの	(47)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎が分散していると不便、1箇所に集約すべき</li> <li>・庁舎の建設場所は、行きやすい、交通利便性のよいところがよい</li> <li>・現地に建てるのが望ましい</li> <li>・現地にとらわれず、利便性の高い場所がよい(見附等) など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方(人にやさしい庁舎)	(45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が利用しやすい建物にしてほしい</li> <li>・気軽に立ち寄れる、親しみやすい庁舎にしてほしい</li> <li>・バリアフリーを取り入れた庁舎を考えてほしい</li> <li>・高齢者、障害者、子ども連れにも配慮した建物にしてほしい など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの(窓口機能: 窓口、待合空間、総合案内など)	(29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい、利用しやすいレイアウトにしてほしい</li> <li>・窓口がスムーズに流れるような機能性が必要</li> <li>・庁舎と合わせて、明るい対応、業務の効率化等も必要 など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方(市民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎)	(27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性のあるものにしてほしい</li> <li>・数10年~100年に亘り機能する、耐久性のあるものにしてほしい など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの(災害対策本部など、災害発生時の対応可能となる空間)	(19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の復興拠点としての機能を備えるべき</li> <li>・災害発生時に市民のための機能・設備を備えて欲しい</li> <li>・耐震性の高いしっかりした建物にしてほしい など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方(市民サービス、事務能率の向上を目指した機能的な庁舎)	(19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての市民が使いやすい施設にしてほしい</li> <li>・市民が気軽に立ち寄れる、親しみやすい庁舎にしてほしい</li> <li>・デザインよりも機能性を重視してほしい など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの(駐車場)	(16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場・駐輪場は十分に確保してほしい</li> <li>・現庁舎の駐車場は十分ではない など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方(環境との共生、周辺との調和ある庁舎)	(15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺的环境や景観に配慮した建物にしてほしい</li> <li>・太陽光発電等、自然エネルギーを活用したほうがよい など</li> </ul>
条件付き賛成意見(仕方なく、やむを得ず等)	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化、耐震性の問題から建替えは仕方ない</li> <li>・建替え費用をできるだけ抑制すべき</li> <li>・建替えに賛成するには行政の効率化、市民に対する説明が必要 など</li> </ul>
どちらかというと庁舎の建替えに否定的なニュアンスを含む意見	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況、市民の税負担を考慮すべき、借入せず積立金で建設すべき</li> <li>・建物よりも職員の対応を考えて欲しい、他にやるべきことがあるはず</li> <li>・判断のための情報が不足している など</li> </ul>
庁舎の建替えに反対、あるいはその意思が受け取れる意見	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現庁舎のままでよい、現庁舎の改築・耐震補強等でよい</li> <li>・財政、経済状況等をふまえ、建替えるべきではない</li> <li>・市庁舎の建替えよりも、市民サービスに使うべき など</li> </ul>
建替えに関する明確な意思を判断できない意見	157	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口が狭い、待たされる</li> <li>・庁舎建設費が財政や市民の負担にならないようにすべき</li> <li>・現庁舎は幼い子ども連れでは行きにくい(ベビーカー、おむつ替え、授乳等)</li> <li>・現在の庁舎は交通の便が悪い</li> <li>・住民票発行等で地域ごとの対応も充実させてほしい など</li> </ul>
市政全般その他の意見	113	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民サービスの向上が必要</li> <li>・行政の効率化を望む</li> <li>・職員の対応を良くしてほしい</li> <li>・税金の無駄遣いをしない</li> <li>・福祉や医療に力を入れるべき など</li> </ul>

## ②庁舎のあり方・機能等による分類

ここでは、市役所庁舎の建替えに関する自由回答について、「新庁舎建設の検討結果報告書(新庁舎建設庁内検討委員会)」を踏まえ、「建設場所」「新庁舎の基本的な考え方」「建物の機能」「事業手法・建設費」という視点から分類する。

「新庁舎の基本的な考え方」に関連する意見は311件あり、そのうち「人にやさしい庁舎」に関する意見が110件で最も多く、次いで「市民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎」(83件)、「市民サービス、事務能率の向上を目指した機能的な庁舎」(72件)に関する意見が多い。

「建物の機能」に関連する意見は199件あり、そのうち「窓口機能」に関する意見が76件で最も多い。

「事業手法・建設費」に関する意見も305件と多くなっている。また、「建設場所」に関する意見は79件である。

問12. 市役所庁舎について、自由なご意見・ご提案をお書きください。

(庁舎のあり方・機能等による分類)

分類	件数
建設場所に関わるもの	79
新庁舎の基本的な考え方(人にやさしい庁舎)	110
新庁舎の基本的な考え方(市民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎)	83
新庁舎の基本的な考え方(環境との共生、周辺との調和ある庁舎)	31
新庁舎の基本的な考え方(市民サービス、事務能率の向上を目指した機能的な庁舎)	72
新庁舎の基本的な考え方(将来の行政需要の変化にも柔軟に対応できる庁舎)	15
建物の機能に関わるもの(窓口機能: 窓口、待合空間、総合案内など)	76
建物の機能に関わるもの(事務機能: 執務空間、部署特有空間、打合空間、会議室、書庫など)	2
建物の機能に関わるもの(議会機能: 本会議場、議会関連空間)	1
建物の機能に関わるもの(災害対策本部など、災害発生時の対応可能となる空間)	44
建物の機能に関わるもの(市民機能: ロビー、食堂・売店、情報公開コーナーなど)	34
建物の機能に関わるもの(駐車場)	42
建物の機能に関わるもの(その他: 職員休養室、更衣室など)	1
事業手法・建設費に関わるもの	305

なお、上記の各分類の主な意見を次頁に示す。

問 12. 市役所庁舎について、自由なご意見・ご提案をお書きください。(主な意見)

分類	件数	主な意見
建設場所に関わるもの	79	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎が分散していると不便、1箇所に集約すべき</li> <li>・庁舎の建設場所は、行きやすい、交通利便性のよいところがよい</li> <li>・現在地に建てるのが望ましい</li> <li>・現在地にとらわれず、利便性の高い場所がよい(見附等) など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方 (人にやさしい庁舎)	110	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が親しみやすい庁舎にしてほしい</li> <li>・明るく優しい、市民が足を運びたくなるような建物にしてほしい</li> <li>・バリアフリーを取り入れた新庁舎を考えてほしい など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方 (市民の安心・安全な暮らしを支える 拠点となる庁舎)	83	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進み、耐震性に問題があるのであれば建替えも仕方ない</li> <li>・質素でも十分な耐震性のあるものを建てるべき など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方 (環境との共生、周辺との調和ある庁 舎)	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上を緑化してはどうか</li> <li>・太陽光発電等、自然エネルギーを利用する</li> <li>・景観に配慮した建物にしてほしい など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方 (市民サービス、事務能率の向上を目指 した機能的な庁舎)	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインよりも機能性を重視してほしい</li> <li>・利便性、合理性等を重視して設計すべき</li> <li>・機能を重視し、無駄を極力省くべき など</li> </ul>
新庁舎の基本的な考え方 (将来の行政需要の変化にも柔軟に対 応できる庁舎)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎の分散化は不便なので、将来を見据えた計画をするべきである</li> <li>・30年後、40年後になってもキッチンと機能する物にしてほしい</li> <li>・機能的、実質的な時代のニーズに応える庁舎が望ましい</li> <li>・近隣市町村との合併も見据えたビジョンに基づき、場所や規模を検 討してほしい など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの (窓口機能：窓口、待合空間、総合案 内など)	76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待合スペースを広くとって欲しい</li> <li>・わかりやすい配置、わかりやすい案内図を望む</li> <li>・待合スペースの広さより、待たせない業務の工夫が必要 など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの (事務機能：執務空間、部署特有空間、 打合空間、会議室、書庫など)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく使う部署は広くとると良い</li> <li>・窓口はどこも中の職場が丸見えで開かれていて良いという反面、職 員の職場の居心地を考えるともう少し工夫のある作りも考えた方が よいのではないか</li> </ul>
建物の機能に関わるもの (議会機能：本会議場、議会関連空間)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会議場は高根・万田の山の上で、空気の良い環境にてじっくり 討議されたい</li> </ul>
建物の機能に関わるもの (災害対策本部など、災害発生時の対応 可能となる空間)	44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現庁舎では地震時に不安、地震対策が必要</li> <li>・災害時の復興拠点としての機能を果たしてほしい</li> <li>・防災、災害対策を重視してほしい など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの(市民機能： ロビー、食堂・売店、情報公開コーナ ーなど)	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等にも配慮し、利便性を考慮すべき</li> <li>・無駄なスペースを省き、機能面を重視すべき</li> <li>・市民が気軽に立ち寄れるようにする(食堂、喫茶、コンサートスペース等) など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの(駐車場)	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の駐車場は狭い</li> <li>・駐車場・駐輪場は十分に確保してほしい</li> <li>・駐車場を広くとると車を使う人が増える など</li> </ul>
建物の機能に関わるもの (その他：職員休憩室、更衣室など)	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼頃行くと職員が食事をしていたり、出前が届いたりして少し気分 を害する。別の出入口あるいは職員用休憩室等があったほうが良い のではないか</li> </ul>
事業手法・建設費に関わるもの	305	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり豪華な建物にはしてほしくない</li> <li>・新庁舎は100年以上使用できるような建物にすべき</li> <li>・メンテナンスのことも考えた建物にすべき</li> <li>・借入により市民の負担にならないようにしてほしい など</li> </ul>

## (2) 市内の公共施設の建替えについて

市内の公共施設の建替えに関する自由回答では、488 件の回答があった。なお、分類にあたっては、1つの回答の中に複数の項目に関する記載があった場合には、各項目に重複して1件ずつ計上している。従って、件数の合計は回答のあった488件を上回る。

具体的な施設種類では、「医療(病院、保健センター)」が179件で最も多く、「教育」「文化」「福祉」は80件前後である。

また、「その他の施設その他の施設(上記以外のもの、優先順位の考え方など)」(167件)が多いほか、「建物の機能や運営方法」に関する意見(147件)も多くなっている。

また、「公共施設の建替えに反対、もしくはそれに近い意見」は29件であった。

問13. 市内には、市役所庁舎の他にも教育・文化・福祉・医療施設など、老朽化している市の施設が多くあります。これらの施設は、耐震性や機能性などの面からいずれ建替えが必要となるため、財源の確保を見据えながら、総合的かつ計画的に準備を進めなければならないと考えています。こうした施設の建替えの際の考え方や優先度などについて、お考えがあればお書き下さい。

分類	件数
教育(学校など)	79
文化(市民センター、図書館、博物館など)	81
福祉	76
医療(病院、保健センター)	179
その他の施設(上記以外のもの、優先順位の考え方など)	167
建物の機能や運営方法に関する意見・要望	147
財政面に関する意見・要望	79
公共施設の建替えに反対、もしくはそれに近い意見	29
市政全般に関する意見・要望(職員に関するものを含む)	66
その他(上記の項目で分類不可なもの)	51

なお、上記の各分類の主な意見を次頁に示す。

問 13. 施設の建替えの際の考え方や優先度などについて、お考えがあればお書き下さい（主な意見）

分類	件数	主な意見
教育（学校など）	79	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校を優先させるべき（教育環境、災害時の安全性・市民利用等）</li> <li>・ 学校の耐震性、安全性、機能性を高めるべき</li> <li>・ 教育施設をもっと市民に開放してほしい など</li> </ul>
文化 （市民センター、図書館、博物館など）	81	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館を新しくして欲しい</li> <li>・ 市民センターを建替えたほうがよい</li> <li>・ 各地区の公民館の建て替え・改修（日常的に利用、災害への対応等） など</li> </ul>
福祉	76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉施設を優先すべき</li> <li>・ 老人ホームを増やしてほしい</li> <li>・ 子ども、老人などが使用する施設を優先すべき など</li> </ul>
医療（病院、保健センター）	179	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療施設を最優先にすべき</li> <li>・ 市民病院の建替えを優先すべき（老朽化、耐震性等）</li> <li>・ 災害に備えて医療施設の整備が必要 など</li> </ul>
その他の施設（上記以外のもの、優先 順位の考え方など）	167	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化したもの・耐震性に問題のあるものから優先的に建て替えるべき</li> <li>・ 利用頻度・需要の多いものから優先的に建替えるべき</li> <li>・ 子どもや高齢者等の利用する施設を優先的に建替えるべき</li> <li>・ 財政や市民の税負担への影響に配慮すべき</li> <li>・ 市民の生命・安全に関わる施設を優先的に建替えるべき</li> <li>・ 複合化、集約化により効率化、利便性の向上を図る</li> <li>・ 優先順位を判断するための情報が不足している</li> <li>・ 必要のなくなった施設は整理すべき など</li> </ul>
建物の機能や運営方法に関する意見・要望	147	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複合化、集約化により効率化、利便性の向上を図る</li> <li>・ 公共施設には災害時の避難・復興拠点としての機能、耐震性が必要</li> <li>・ 駐車場を十分に確保する</li> <li>・ 親しみやすい、わかりやすい</li> <li>・ 子どもや高齢者等に対応した施設（バリアフリー等）</li> <li>・ 無駄を省き、必要最小限、シンプルな施設</li> <li>・ メンテナンスも考慮した施設 など</li> </ul>
公共施設の建替えに反対、もしくは それに近い意見	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急いで建替える必要はない、補強・改修で対応すべき</li> <li>・ 本当に建替えが必要か</li> <li>・ 税金の無駄遣いにならないようにしてほしい など</li> </ul>
市政全般に関する意見・要望（職員 に関するものを含む）	66	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民第一、市民の利便性を優先して考えてほしい</li> <li>・ 無駄のないようにしてほしい</li> <li>・ 民間を活用する、民間に任せられるものは任せる</li> <li>・ 施設（建物）よりも基盤（道路等）を優先すべき など</li> </ul>
その他（上記の項目で分類不可なもの）	51	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設が遠く利用する機会がない・少ない</li> <li>・ 不要なものの整理が必要 など</li> </ul>



## 参考資料

### 1. 調査票

#### 平塚市役所庁舎についてあなたのご意見を！

##### (ご協力をお願い)

平塚市では、市庁舎について検討を行っています。

現在の市役所本庁舎は、昭和39年(1964年)に建設され、すでに40年以上が経過し老朽化が進んでいます。

市庁舎は、平常時は市民生活を支え、万一の災害発生時には応急対策や災害復興の拠点となる重要な施設です。

そこで、平塚市では現在の市庁舎の老朽化や分散化などの様々な問題を解決し、市民サービスの向上を図るとともに、市庁舎の耐震性の不安を解消し災害時の拠点となるよう建替えを考えていますが、あらためてあなたのご意見をお聞かせください。

今回いただきましたご意見は、新庁舎建設に向けての資料として活用させていただきます。

平成18年7月

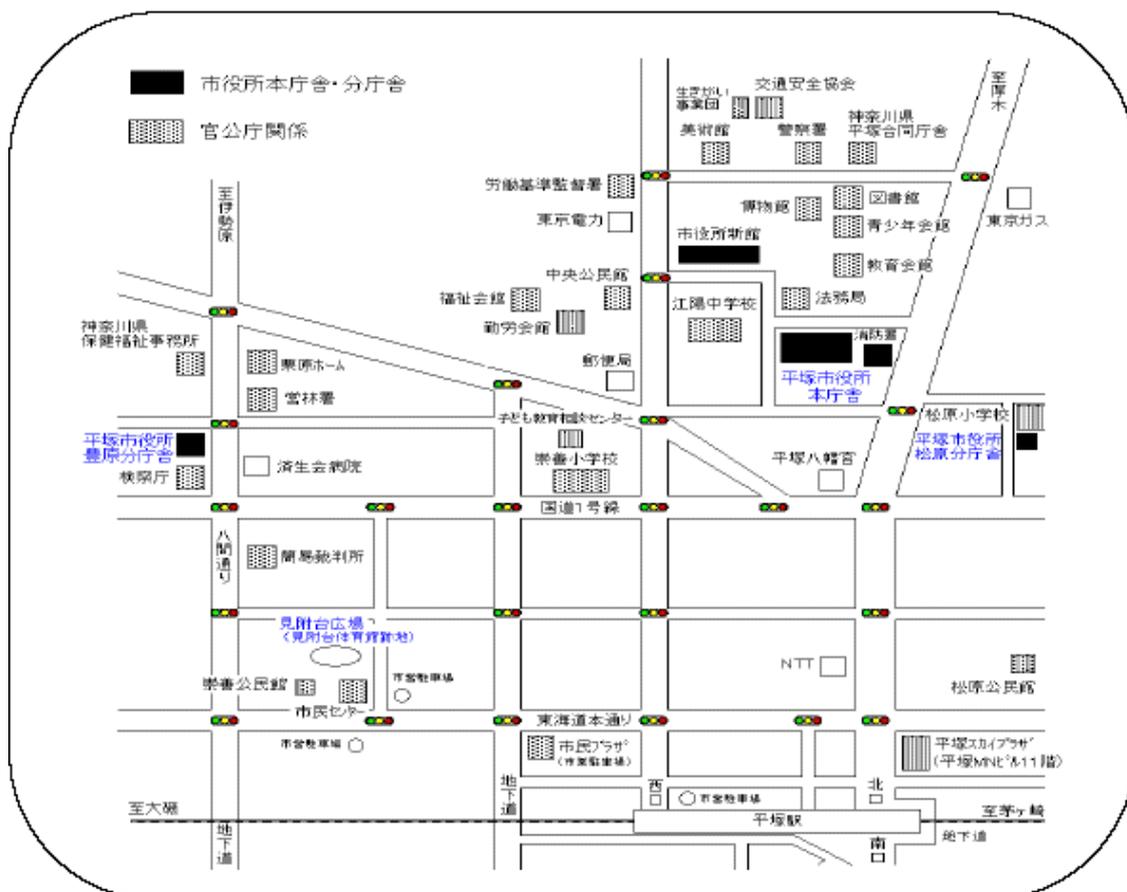
平塚市長 大 藏 律 子

#### 本アンケート調査について

1. 配付資料  
お送りした封筒には以下の資料が入っています。ご確認ください。
  - ① ご協力をお願い
  - ② アンケート票
  - ③ 返信用封筒
2. アンケートの対象者  
市内にお住まいの満18歳以上の約3,000人を住民基本台帳から無作為に選びました。
3. アンケートの回収方法  
記入したアンケート票は、同封の返信用封筒(切手はいりません。)に入れて、**8月14日まで**にご投函ください。
4. アンケート調査の結果  
アンケート調査の結果は、11月ごろに公表する予定です。  
本アンケート調査の目的外利用は、一切いたしません。
5. 問い合わせ連絡先  
平塚市役所 総務部 行政総務課 庁舎建設準備担当  
電話 23-1111、35-1111 内線2107

## 平塚市役所庁舎に関する市民アンケート (アンケート票)

本アンケートは、平塚市役所の庁舎に関して市民の皆様のご意見を伺うものです。  
本庁舎等の位置は下記の略図でご確認ください。



### <アンケートに回答される際のご注意>

- ・回答は、選択する番号に○をつけるかたちで行います。いくつ選択するかについては、問の最後にカッコ書きで表示がありますので、この表示に従って回答してください。

<回答例>問1. 以下のうちあなたの考えに近いものに○をつけてください。  
(該当するもの2つまで)

- |              |                    |   |                   |
|--------------|--------------------|---|-------------------|
| ①            | ○ ○ である            |   |                   |
| ②            | △ △ である            |   |                   |
| <del>③</del> | <del>□ □ である</del> | → | 間違えたら二本線で消してください。 |
| ④            | ☆ ☆ である            |   |                   |

- ・回答は、8月1日現在において記入してください。

あなた自身のことについて伺います。

問1. 性別

1. 男	2. 女
------	------

問2. 年齢

1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
7. 70～79歳	8. 80歳以上	

問3. 職業

1. 勤め人（パート、アルバイトを含む）	2. 自営業	3. 学生
4. 無職	5. その他（	）

※その他の場合は、その具体的な内容を記入してください。

問4. 平塚市内に住んで何年くらいたちますか。

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10～20年未満	5. 20年以上	

問5. お住まいの地区（下表左欄の該当する地区の番号に○をつけてください）

地 区	該当する住居表示地区または字名
1 富士見	上平塚、桜ヶ丘、諏訪町、達上ヶ丘、豊原町、中里、平塚1丁目～5丁目、富士見町
2 崇 善	明石町、追分、浅間町、宝町、立野町、錦町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町
3 松 原	天沼、榎木町、老松町、須賀、堤町、中堂、長瀬、馬入、馬入本町、八千代町
4 港	久領堤、幸町、千石河岸、高浜台、代官町、札場町、夕陽ヶ丘
5 花 水	黒部丘(1番～9番)、壘平、袖ヶ浜、虹ヶ浜(1番～12番)、松風町、桃浜町、八重咲町、龍城ヶ丘
6 なでしこ	黒部丘(10番～30番)、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜(13番～24番)、花水台
7 八 幡	西八幡1丁目～4丁目、東八幡1丁目～5丁目、八幡
8 真 土	西真土1丁目～4丁目、東真土1丁目～4丁目、真土
9 四之宮	四之宮1丁目～7丁目、四之宮
10 中 原	大原、御殿1丁目～4丁目、新町、中原上宿、中原下宿、中原1丁目～3丁目(中原3丁目1番～19番除く)
11 南 原	南原1丁目～4丁目、南原
12 松が丘	中原3丁目(1番～19番)、東中原1丁目～2丁目
13 豊 田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
14 田 村	田村1丁目～9丁目、田村
15 大 神	大神、吉際
16 横 内	横内
17 城 島	大島、城所、小鍋島、下島
18 岡 崎	岡崎、ふじみ野1丁目～2丁目
19 金 田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
20 土 屋	土屋
21 吉 沢	上吉沢、下吉沢、めぐみが丘1丁目～2丁目
22 旭 南	出縄、高根、高村、万田、山下
23 旭 北	公所、河内、徳延、根坂間、日向岡1丁目～2丁目、纏
24 南金目	片岡、千須谷、広川、南金目
25 北金目	北金目、真田

(注意) 自治会や学校の区域と町名の一致しない場合でも上記の範囲でご回答ください。

現在の市役所庁舎の利用状況について伺います。

問6. 最近、概ね5年の間に、庁舎を訪れたことがありますか(1つに○)。  
(市役所本庁舎・分庁舎等合わせて教えてください)

1. ある → 問7.へ進む      2. ない → 問10.から続けてお答えください。

問7. 最近、概ね5年の間に、どのぐらいの頻度で庁舎を訪れましたか(1つに○)。  
(市役所本庁舎・分庁舎等合わせて教えてください)

【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】

1. ほぼ毎日                      2. 週に2～3回程度                      3. 週に1回程度  
4. 月に1、2回程度              5. 年に3、4回程度                      6. 年に1回程度  
7. その他

問8. 主にどのような交通手段で庁舎を訪れましたか(1つに○)。

【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】

1. 自家用車                      2. タクシー                      3. オートバイ                      4. 自転車  
5. バス                              6. 徒歩

問9. どのような用件で庁舎を訪れましたか(該当するものすべてに○)。

【問6. で、『1. ある』に○をつけた方のみお答えください。】

1. 戸籍、住民票等のこと                      2. 国民健康保険・国民年金のこと  
3. 税金のこと                              4. 建築確認申請や都市計画、道路、下水道のこと  
5. 福祉のこと(介護・保育園等)              6. 市民相談  
7. 議会等の傍聴                              8. 教育のこと(学校、教育相談等)  
9. 調査など仕事のこと                      10. 自治会や地域のこと  
11. 展示物の観覧等                              12. 会議・打合せ  
13. その他  
(具体的に \_\_\_\_\_ )

市役所庁舎を建替える場合の考え方について伺います。

問10. 平塚市では、下記の検討経過などを踏まえ、市役所庁舎の建設を『早期に現在地に新築する』方向で進めたいと考えています。下記の検討経過などを参考にし、5ページの設問について、あなたの考えに近いものに○をつけてください(各項目につき1つ)。

#### 検討経過

- ・平塚市では平成元年から庁舎建設の検討を始め、平成6年度の着工を目指していましたが、経済状況等の変化により建設計画を一時凍結しました。その後実施した庁舎の耐震診断では、大規模な地震発生時には倒壊の危険があるため、相当規模の対策が必要となることが判明しています。また、庁舎の分散化等により、市民の皆様にご不便をお掛けしていることなどから、新庁舎建設について検討を行ってきています。

#### 検討結果

- ・現在の庁舎を耐震補強する方法なども検討しましたが、本庁舎4階建て部分だけの耐震補強に概ね15億円の経費、さらに、分庁舎などの耐震対策や老朽設備の改修などにも別途多額の経費が必要となります。また、耐震補強を実施しても耐用(残存)年数の大幅な延長は見込めず、庁舎分散化の解消も図れないなどの問題が残ります。
- ・現庁舎に耐震補強を実施する場合と庁舎を建替える場合を比較検討した結果、費用対効果などを考慮し、現庁舎の耐震補強はしないで、なるべく早く新庁舎を建設することが望ましいと考えています。  
なお、庁舎の完成は、基本構想策定、基本設計、実施設計、建設工事などを順次実施すると、最短で概ね5年かかると予測されます。
- ・場所は、現庁舎敷地と見附台地区の2つに絞り、まちづくりの施策、利便性、防災拠点としての安全性、関連計画との整合性、実現性、経済性などについて比較検討し、防災上の観点や官公庁施設の集積等による利便性などから、現在地が望ましいと考えています。

**新庁舎の規模等**

- ・ 庁舎の規模は、将来の人口や職員数なども考慮し、分庁舎も含めた現在の庁舎面積を合算した延床面積約20,000㎡を基本に考えています。
- ・ 事業費は、市の財政に過度な負担とならないように、現在まで積み立てている約64億円の庁舎建設基金と市債（借入金）により、概ね100億円程度を考えています。

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない
1. 庁舎の建設はできるだけ早く進めた方がよいと思いますか	1	2	3	4	5
2. 庁舎建設の場所は現在地がよいと思いますか	1	2	3	4	5
3. 庁舎は新築した方がよいと思いますか	1	2	3	4	5

※ 設問の内容について、別にご意見等がある場合は、問1 2のところでも自由にお書きください。

これからの市役所庁舎のあり方について伺います。

問11. これからの庁舎のあり方について、あなたの考えに近いものに○をつけてください（各項目につき1つ）。

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない
1.防災や災害時の復興拠点としての機能を備えているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
2.ユニバーサルデザイン（注1）の考え方に対応しているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
3.省エネルギーや省資源等の環境への配慮をしているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
4.市民サービスの向上に結びつく情報技術（IT）化に対応しているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
5.庁舎は分散しているより1箇所に集約されているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
6.市民が利用できるロビーや憩いのスペース等が設けられているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
7.市民利用の多い窓口部門の待合スペースは、ゆとりが充分あるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
8.街のシンボルとなるような建物のほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
9.駐車場・駐輪場が充分にあるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
10.緑地がなるべく多く取ってあるほうがよいと思いますか（注2）	1	2	3	4	5
11.周辺の景観に見合う建物のほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
12.周辺に他の官公庁施設があるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
13.案内表示などが多様な外国籍市民にも対応しているほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5
14.将来の変化に対応できるゆとりのスペースがあるほうがよいと思いますか	1	2	3	4	5

（注1）「ユニバーサルデザイン」

すべての人にとって共通に、安全で使いやすい製品や快適で不便のない生活環境をデザインしていくという考え方。

（注2）緑地については、「緑化の推進及び緑の保全に関する条例」により、敷地面積の20%以上は確保する予定です。

市役所庁舎について伺います。

問12. 市役所庁舎について、自由なご意見・ご提案をお書きください。

市内の公共施設の建替えについて伺います。

問13. 市内には、市役所庁舎の他にも教育・文化・福祉・医療施設など、老朽化している市の施設が多くあります。これらの施設は、耐震性や機能性などの面からいずれ建替えが必要となるため、財源の確保を見据えながら、総合的かつ計画的に準備を進めなければならないと考えています。  
こうした施設の建替えの際の考え方や優先度などについて、お考えがあればお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート票は、平成18年8月14日（月）までにご投函ください。

《問い合わせ連絡先》

平塚市役所 総務部 行政総務課 庁舎建設準備担当  
電話 23-1111、35-1111 内線2107



平塚市役所本庁舎